



KENWOOD

株式会社 ケンウッド

〒150-8501 東京都渋谷区道玄坂1-14-6

- 商品、および商品の取り扱いに関するお問い合わせは、お客様相談室をご利用ください。
お客様相談室（東京）電話（03）3477-5335 〒153-0042 東京都目黒区青葉台3-17-9
（大阪）電話★（06）357-5335 〒534-0024 大阪府都島区東野田町1-20-5（大阪京橋第一生命ビル）
「★」マークの電話番号は、1999年（平成11年）1月1日より、市内局番の「6」をつけておかけください。
- アフターサービスについては、お買い上げの販売店か、または最寄りのサービスステーション、各営業所にご相談ください。

KENWOOD

ポータブルMDレコーダー

DMC-K7R

取扱説明書

お買い上げいただきましてありがとうございました。
ご使用の前に、この取扱説明書をよくお読みのうえ、説明の通り正しくお使いください。
また、この取扱説明書は大切に保管してください。
本機は国内専用モデルですので、本機のACアダプターを外国で使用することはできません。

Precaution for use

This unit is designed for domestic use only, and it is very dangerous to use the attached AC adaptor abroad. Never use it out of Japan.

株式会社 ケンウッド

KENWOOD CORPORATION



電源について

本機の外部電源は、付属のACアダプター、乾電池ケース、および別売の専用カーバッテリーアダプター以外は使用しないでください。

ENGLISH OPERATION MANUAL Page 58

B60-4116-08 (JA) (J)
99/12 11 10 9 8 7 6 5 4 3 2 1 98/12 11 10 9 8

TINSK0367AFZZ
A9808.10.0MYM.SM

おもな特長

◆小型・長時間使用

コンパクトサイズで長時間使用を実現。自宅でも外出先でも、手軽に楽しめます。

◆スロットインメカニズム

MDの出し入れがワンタッチでできる、簡単操作のメカニズムを採用しました。また、MDを入れると、自動的に再生をはじめます。(オートプレイ) P.24

◆トリプルシャトル採用液晶リモコン

操作が3つのシャトルで行え、バックライト付のリモコンです。 P.41

◆CD/マイクサウンドシンクロ録音

CDの再生/停止に合わせ、自動的に録音/一時停止します。 P.16

マイク録音のときは、音や声の大きさに反応して自動的に録音/一時停止します。 P.18

◆MD編集

曲の並び換えなどが簡単に行えます。曲名などもカタカナ表示ができます。 P.30

◆サンプリングレートコンバーター内蔵

CS/BSチューナーやDATデッキなどから直接デジタルで高音質録音ができます。

◆フローティング充電

録音や再生をしているときでも、ACアダプターをつないでいると充電されます。 P.11

◆モノラル長時間録音

録音時間が2倍になりますので、会議や講演会などの録音に便利です。 P.21

◆2倍速早聞き再生

モノラル長時間モードで録音すると、通常の2倍の速さで聞けます。 P.27

◆MD丸ごと文字スタンプ

一度編集したMDから別のMDに録音するときは、ディスク名や曲番などの文字情報をスタンプすることができます。 P.37

もくじ

準備

安全に正しくお使いいただくために	4
付属品を確認する	9
電源について	10

MDに録音する

録音する前に	12
基本的な録音	14
いろいろな録音機能	20

MDを聞く

基本的な再生	24
いろいろな再生機能	26

MDを編集する

編集メニューを選ぶ	30
いろいろな編集機能	31

便利な使いかた

電池残量の確認	39
誤動作を防止する	39
いろいろな設定を変える	40
他の機器と接続して使う	42

ご参考に

MDについて	43
充電池について	43
「故障かな？」と思ったら	44
MDのシステム上の制約	46
TOCについて	47
こんな表示がでたら	48
お手入れについて	50
音楽著作権について	50
仕様	51
別売品について	52
保証とアフターサービス	53
各部のなまえ	56



ご注意

操作するときに注意していただきたいときは、
はくがお話します。



お知らせ

お知らせしたいときや、
便利な操作をするときは、
はくがお話します。

- それぞれの操作をするときの **ボタン名称** は、本体のボタン名です。
リモコンで操作をするときは、() 内のボタンまたはシャトルで
行ってください。

安全に正しくお使いいただくために

ご使用前に

■絵表示について

この取扱説明書には、安全にお使いいただくためにいろいろな絵表示をしています。その表示を無視し、誤った取り扱いをすることによって生じる内容を次のように区分しています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠ 危険

人が死亡または重傷を負う恐れが高い内容を示しています。

⚠ 警告


人が死亡または重傷を負う恐れがある内容を示しています。


⚠ 注意

けがをしたり財産に損害を受ける恐れがある内容を示しています。

■絵表示の意味

 記号は
してはいけない
ことを表しています。

 記号は
しなければならない
ことを表しています。

 記号は
気をつける必要がある
ことを表しています。

⚠ 危険

充電電池の取り扱いについて

漏液・発熱・発火・破裂などを避けるため、必ず次のことを守ってください。

火の中へ入れたり、分解・加熱しない。

ショートさせない。(ネックレスやヘアピンなどの金属類と一緒に携帯・保管すると、ショートすることがあります。)

釘を刺したり、ハンマーでたたいたり、踏みつけたり、ハンダ付しない。

充電電池に貼ってあるビニールをはがしたり、傷つけない。

本体以外では充電しない。

火のそばや炎天下など、高温の場所で充電・放置をしない。

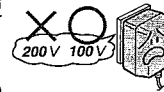
付属の充電電池は、本機以外には使用しない。

充電電池が漏液して液が目に入ったときは、こすらずにすぐにきれいな水で十分に洗ったあと、直ちに医師の治療を受けてください。目に傷害を与える恐れがあります。

⚠ 警告

指定以外の電圧では使用しない

ACアダプターは、AC 100V以外の電圧で使用しないでください。
火災・感電の原因となります。



指定以外のものは使用しない

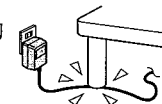
指定以外のACアダプターやカーバッテリーアダプターなどを使用すると、火災・事故の原因となります。

ACアダプターの取り扱いについて

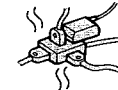
火災・感電による事故を防ぐために、次のことを守ってください。

コードを傷つけたり、無理に曲げたり、ねじったり、加工したりしない。

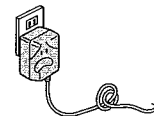
また、重い物を乗せたり、加熱したり、引っばったりすると、コードが破損します。



タコ足配線はしない。



コードが傷ついたときは(芯線の露出、断線など)、販売店に交換をご依頼ください。



事故防止のために

事故を防ぐために、下記の事項を守ってください。

自動車やバイク、自転車などの運転中は、ヘッドホンを絶対に使わない。

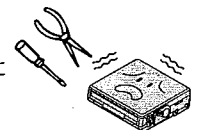


歩行中は、周囲の音が聞こえなくなるほど、音量を上げすぎない。特に、踏切や横断歩道などでは十分気をつけてください。

キャビネットは絶対に開けない

分解・改造はしないでください。

火災・感電・けがの原因となります。内部の点検・調整・修理は、販売店にご依頼ください。



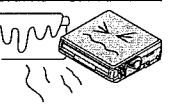
内部に物や水などを入れない

火災・感電を避けるために、下記の事項を守ってください。

MDの挿入口などから内部に金属類や燃えやすい物などを差し込まない。



風呂場や雨にあたる所、湿気の多い所では使用しない。



警告

充電電池の取り扱いについて

充電の際に所定の充電時間を越えても充電が完了しない場合には、充電をやめてください。発熱・破裂・発火の原因となります。

充電電池が漏液したり、異臭がするときには、直ちに火気より遠ざけてください。漏液した電解液に引火し、発火・破裂する原因となります。

充電電池の使用時や充電中、保管時に異臭を感じたり、発熱したり、変色・変形など、その他今までと異なることに気がついたときには、本体から取り出し、使用しないでください。

乾電池ケースの取り扱いについて

乾電池ケースを携帯・保管するときは、乾電池を入れたままの状態でもネックレスやヘアピンなどの金属類と一緒にしないでください。ショートすることがあります。

雷が鳴りだしたら

安全のため、早めにACアダプターをコンセントから抜いてください。雷によっては、火災・感電・故障の原因となります。

異常が起きたら

次のようなときは、ACアダプターをコンセントから抜き、充電電池などはずしてから販売店に修理を依頼してください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。

内部に水や異物などが入ったとき

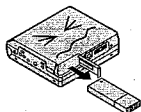
本機を落としたり、衝撃を与えたり、キャビネットを破損したとき

(特に充電電池フタが破損したり、はずれた場合、フタをつけずに使用しないでください。)

ACアダプター、充電電池などが破損したとき

動作がおかしくなったとき

異常な音が生じたり、煙が出たり、変な臭いが出るとき



注意

ACアダプターの取り扱いについて

火災・感電を防ぐために、次の点に注意してください。

ACアダプターを抜くときは、コードを引っ張らない。

コードが傷つくことがあります。

濡れた手でACアダプターを抜き差ししない。

コードを熱器具に近づけないでください。コードの被覆がとけることがあります。

コンセントへの差し込みがゆるくぐらついたり、プラグやコードが熱いときは、使用を中止してください。

布や布団でおおったり、つつんだりしないでください。

熱がこもり、ケースが変形することがあります。

音量に気をつけて

ヘッドホンで聞くとときは、音量の設定に十分気をつけてください。思わぬ大音量が出て、耳を痛める原因となることがあります。また、耳をあまり刺激しないよう適度な音量でお楽しみください。

置き場所・使用場所について

火災・事故・けが・故障などの原因となることがありますので、次のような所で使用・放置しないでください。

ぐらついた台の上や傾いた所。不安定な所。

調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気が当たるような所。

極端に寒い所や火気の近く。



直射日光が長時間あたる所(特に密閉した自動車内)や、暖房器具の近く。(キャビネットが変形・変色することがあります。)

ホコリの多い所。海辺や砂地など内部に砂の入りやすい所。

スポンなどの後ろのポケットに入れて座ったり、満員電車などで製品に大きな力が加わるような所。

本体に長時間触れない



使用中はあたたかくなりますので、直接肌に触れたままで長時間使用しないでください。やけどの原因となることがあります。

お手入れのときは



安全のため、ACアダプターをコンセントから抜いてください。感電やけがの原因となることがあります。

⚠ 注意

乾電池の取り扱いについて

乾電池は誤った使いかたをしますと、感電・破裂・発火の原因となる場合があります。次の点に特に注意してください。

充電しない。

ショートさせない。

金属小物（かぎ・ネックレス・コイン等）といっしょにポケットやかばんなどに入れない。

水に濡らしたり、加熱したり、火の中へは投げ込まない。

分解しない。

乾電池が使えなくなったり、長期間使わないときは、乾電池ケースから取り出してください。液もれをして機器を腐食させたり、手や衣類などを汚す原因となります。（液がもれた場合は、乾電池ケースについた液をよく拭き取ってから新しい乾電池を入れてください。万一、もれた液が身体についたときは、水でよく洗い流してください。）

プラス（+）とマイナス（-）の向きを表示どおり正しく入れる。

充電電池の取り扱いについて

充電電池は誤った使いかたをしますと、発熱・破裂・発火・破損・充電電池の性能や寿命を低下させる原因となることがあります。次の点に特に注意してください。

強い衝撃を与えたり、投げつけたりしない。

直射日光の強い所や炎天下の車内など、高温の場所で使用したり、放置しない。

水や海水などにつけたり、濡さない。

充電電池が漏液して液が皮膚や衣服に付着した場合には、すぐにきれいな水で洗い流してください。皮膚がかぶれたりする原因となることがあります。

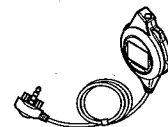
充電電池の充電温度範囲は、5℃～35℃です。この温度範囲以外で充電しないでください。

長期間ご使用にならないとき

安全のため、必ずACアダプターをコンセントから抜き、充電電池などをはずしてください。

付属品を確認する

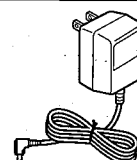
お使いになる前に、よく確かめてください。



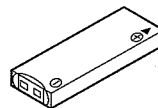
液晶リモコン×1



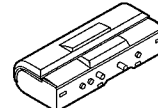
ヘッドホン×1
(インピーダンス32Ω)



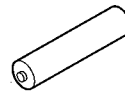
ACアダプター×1



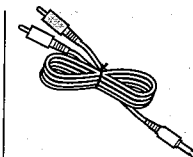
充電電池×1



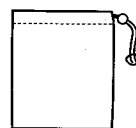
乾電池ケース×1



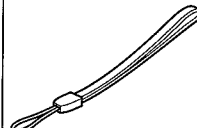
アルカリ乾電池（単3形）×1



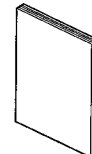
接続コード×1



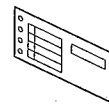
キャリングケース×1



ハンドストラップ×1

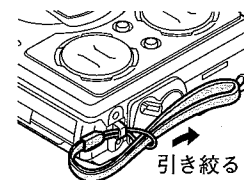
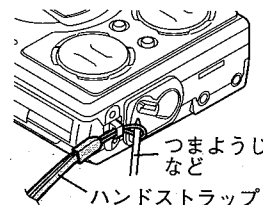


取扱説明書×1



保証書×1

ハンドストラップの取り付けかた



● カタログおよび包装箱に表示されている機種名の最後のアルファベットは製品の色を示す記号です。色は異なっても、操作方法や仕様は同じです。

● この製品は、ドルビーラボラトリーズ ライセンシング コーポレーションの米国及び外国特許に基づく許諾製品です。
● ACアダプターの形は、イラストと異なる場合があります。

電源について

この製品は、充電電池、ACアダプター、乾電池（単3形アルカリ乾電池）、カーバッテリーアダプター（別売）の4種類の電源で使うことができます。

■ 充電電池で使う

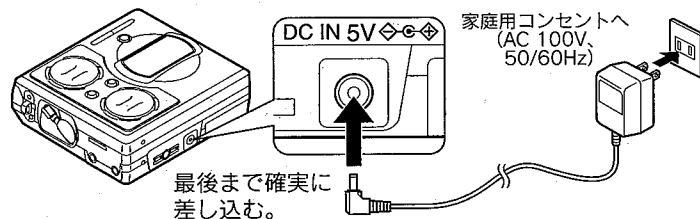
ご購入時、充電電池は完全に充電されていません。次の手順で充電してください。

- 本体の電源が切れた状態にしておきます。（P.17）

1 充電電池を入れる。



2 ACアダプターをつなぐ。



約4秒後に “■■■■” 表示が点滅し、充電が始まります。

約3時間すると充電が完了し、“■■■■” 表示が消えます。

- ACアダプターのプラグをつないだときに、MDが入っていた場合は、再生が自動的に始まる場合があります。そのときは、**[OFF]** を2回押して、電源を切ってください。

■ 乾電池を併用して使う

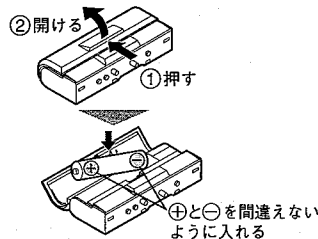
乾電池を充電電池と併用すると、より一層の長時間使用が可能です。

- 乾電池は単3形アルカリ乾電池（LR6）を使用してください。

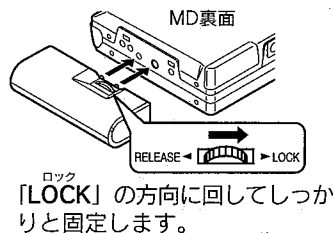
1 充電済みの充電電池が入っていることを必ず確認する。

- 乾電池だけで使用しないでください。

2 乾電池を入れる。



3 乾電池ケースを本体に取り付ける。



連続再生時間について

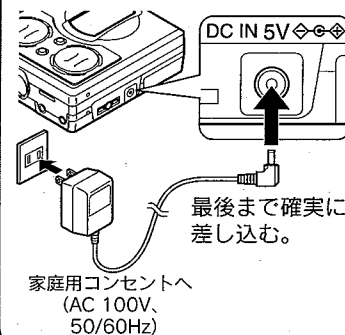
51ページの「仕様」の“電池持続時間”をごらんください。

■ ACアダプターで使う

充電電池が入っていないでも使えます。

- 充電電池が入っていると、動作中でも充電されます。（フローティング充電）充電時間は長くなります。

1 ACアダプターをつなぐ。



ご注意

- 乾電池ケースには、充電電池（ニカド電池等）を使用しないでください。
- この製品は、0℃～40℃の場所でお使いください。
- 充電電池と乾電池を併用して使用しているときに、どちらか一方を取り出さないでください。再生時は再生が止まり、録音時は録音した内容が消え、電源が切れることがあります。
- カーバッテリーアダプター（別売）は指定以外のは使用しないでください。
- 別売のカーバッテリーアダプターで使用する場合は、充電電池を本体から取り出してください。充電電池が消耗します。

録音する前に

■ デジタル録音とアナログ録音について

デジタル録音とアナログ録音には次のような違いがあります。

デジタル録音

CDやMDのデジタル信号を、デジタルのまま録音する方法です。アナログに比べて、高音質での録音ができます。

接続できる機器：光出力端子のある機器
(CS/BSチューナー・
CD/MDプレーヤーなど)
使用するケーブル：別売の光デジタル
ケーブル

アナログ録音

ステレオやラジカセなどのオーディオ機器での再生音（アナログ信号）を録音する方法です。付属の接続コードで、いろいろな機器と手軽に接続できます。

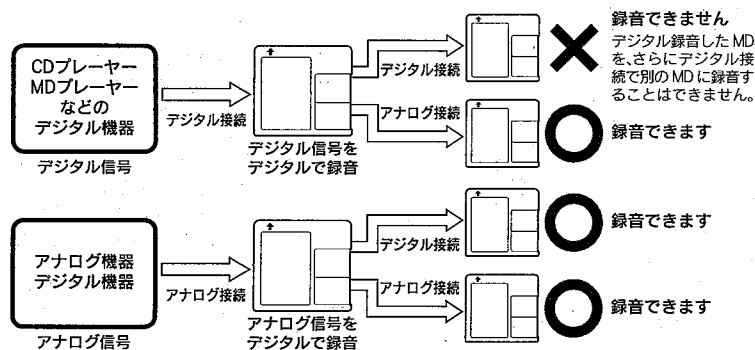
接続できる機器：ライン出力端子のある
機器
(ステレオ・ラジカセなど)
使用するケーブル：付属の接続コード

サンプリングレートコンバーター内蔵

本機はサンプリングレートコンバーター内蔵のため、CS/BSチューナーやDATデッキなどサンプリング周波数の違う（32kHz、48kHz）デジタル機器に接続しても自動的に44.1kHz（本機の周波数）に変換してデジタル録音できます。

■ デジタルコピーに関するご注意

デジタル入力で録音したMDを、さらに別のMDやDATなどにデジタル録音（コピー）することはできません。これは、SCMS（シリアルコピーマネージメントシステム）により定められた規格です。

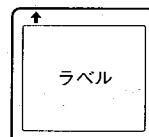


■ MDの種類について

MDには再生専用と録音・再生用の2種類があります。

再生専用 MD

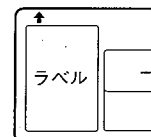
市販の音楽ソフトはこのタイプです。CDと同じように光ディスクを使っています。録音や編集はできません。



シャッターが片面（裏面）にあります。

録音・再生用 MD

録音もできる「生ディスク」です。光磁気ディスクを使っているため、くり返して録音することができます。



誤消去防止ツマミ

矢印の方向に動かすと、録音した内容を誤って消しません。
● 録音や編集はできなくなります。
● 再び、録音や編集をするときは、誤消去防止ツマミをもとに戻します。（裏面の穴を閉じる）



ご注意

音楽著作権について

あなたが録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。P.50

大切な録音をするときは

- 録音待機状態で、接続や録音レベルなどが正しいか確かめてから録音をしましょう。
- ACアダプターで使用することをおすすめします。また、充電が完了した充電電池を必ず入れておいてください。万一停電になっても、電源は自動的に充電電池に切り換わります。マイクなどでの録音時に有効です。

充電電池や乾電池を使用するときは

ヘッドホンから聞こえる音量レベルを“0”にしておけば、録音内容を聞きながら録音するときよりも、電池の消耗が少なくなります。

接続時のご注意

各プラグは確実に差し込んでください。接触不良などにより、正しく録音できないことがあります。また、プラグはいつもきれいにしておいてください。プラグが汚れていると、雑音が出ることがあります。

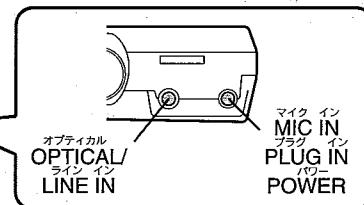
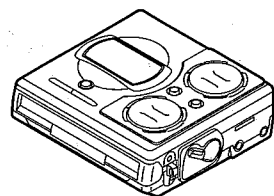
基本的な録音

■ 接続するには

デジタル録音用の接続とアナログ録音用の接続があります。

	本体接続端子	接続コード	接続機器
デジタル録音用の接続	オプティカル ライン イン OPTICAL/LINE IN 端子へ	デジタルケーブル (別売：OPC-300)	DIGITAL OUT ステレオ機器などの 光出力端子(角型)へ
		デジタルケーブル (別売：OPC-500)	OPTICAL OUT MDプレーヤーなどの 光出力端子(丸型)へ
アナログ録音用の接続	オプティカル ライン イン OPTICAL/LINE IN 端子へ	付属の接続コード	音声出力 右(R)へ 赤 左(L)へ 白 ステレオなどの ライン出力端子へ
		市販の接続コード	ヘッドホン端子 ラジカセなどの ヘッドホン端子へ
マイクの接続	マイク イン MIC IN端子へ		プラグインパワー方式 ステレオマイクロホン (別売：MC-R1)

- LINE IN端子には何も接続しないでください。



ご注意

接続するマイクの種類について

指定以外のマイクを使うときは、必ずプラグインパワー方式のものをご使用ください。

- プラグインパワー方式とは、マイクをつなぐとマイクに電源が供給され、マイクが動作する方式です。
- 他のマイクを接続すると、正しく動作しなかったり、故障の原因となります。

外部機器の設定について

- 外部機器によっては機器を再生にしないと、光出力がでないものがあります。
- ポータブルCDプレーヤーなどから録音するとき、音とびを防ぐ機能がついている機器では、そのスイッチを“切”にしておいてください。

録音レベルについて

- 録音レベルは、低すぎると音が小さくなり、高すぎるとひずみが増えます。特にCDなどは、音の強さの変化範囲が広がっていますので、録音レベルを上げすぎないようにしてください。

■ シンクロ録音とマニュアル録音について

シンクロ録音とマニュアル録音には次のような違いがあります。

シンクロ録音

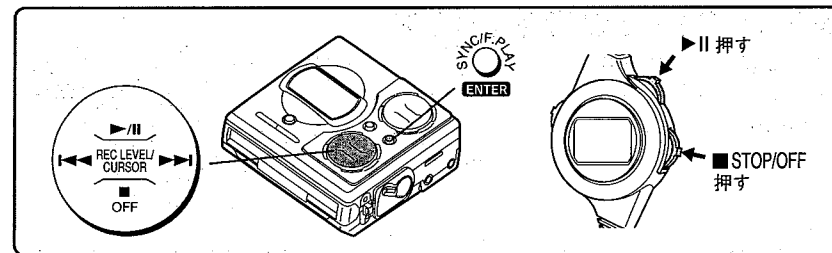
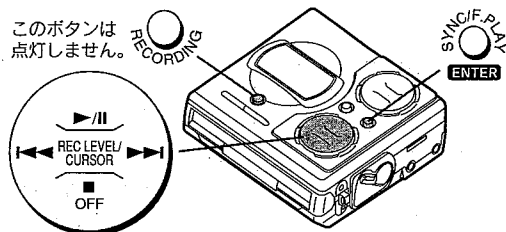
接続した機器の音を検知して、自動的に録音を開始したり一時停止する機能です。

マニュアル録音

ご自分の好きなタイミングで操作をして、録音や一時停止ができます。

■ 外部機器から録音するには

録音にはシンクロ録音とマニュアル録音の2種類があります。



MDに録音する

1 外部機器を接続する。P.14

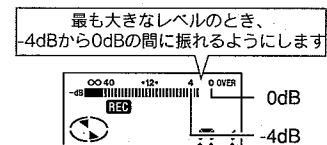
2 録音用MDを入れ、RECORDINGを押す。



録音の待機状態になります。

3 接続した機器を再生し...

◀◀ または ▶▶ を押して、録音レベルを調整する。



- デジタル入力の場合、録音レベルの調整は不要です。
- CDなどから録音するときは、この操作のあと、接続した機器を再生待機状態にしておきます。
(録音したい曲の頭出しをしておく。)

4 シンクロ録音のときは...

ENTER/SYNC/F.PLAY を押す。

シンクロ録音の待機状態になります。

↓
接続した機器を再生すると、自動的に録音が始まります。

マニュアル録音のときは...

▶II を押して録音を開始する。

- CDなどから録音するときは、▶II を押したあと、接続した機器を再生します。
- 録音中に曲番をつけることができます。
P.22

録音を一時停止するには

シンクロ録音のとき...

- 接続した機器を停止すると、自動的にシンクロ録音の待機状態になります。再び再生すると、続けて録音できます。
- 無音状態が3秒以上続くと自動的に一時停止になります。
(録音開始後約10秒間は一時停止しません。)
- ▶II を押すとシンクロ録音が解除され、録音の待機状態になります。
- 再び、シンクロ録音を始めるには、ENTER/SYNC/F.PLAY を押します。

マニュアル録音のとき...

▶II を押す。

- 録音の待機状態になります。
- もう一度押すと、録音が始まります。
このとき、曲番が1つ増えます。

録音を停止するには

■/OFF を押す。

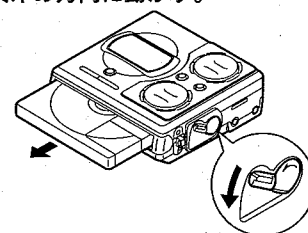
電源を切るには

停止中に、■/OFF を押す。

- TOCを記録したあと、電源が切れます。
TOCについて P.47
- 停止後そのままにしておくと、約2分後に電源が自動的に切れます。

MDを取り出すには

電源を切って、本体のEJECTつまみを矢印の方向に動かす。

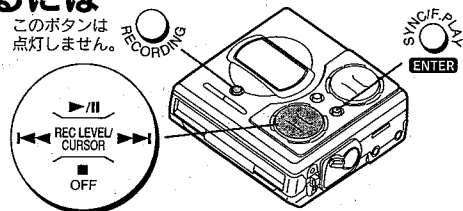


- 録音中や録音を止めたあとの“TOC EDIT!” (P.47) 表示中は、本体に衝撃を与えないでください。正しく録音や記録ができないことがあります。
- “TOC EDIT!” 表示中は、無理にEJECTつまみを動かさないでください。故障の原因となります。電源を切ってから、取り出してください。
- 再生信号によっては、正確な位置で録音開始・一時停止しないことがあります。
このようなときは、マニュアル録音を行ってください。P.16

MDに録音する

■ マイクから録音するには

録音にはシンクロ録音とマニュアル録音の2種類があります。



1 マイクを接続する。P.14

2 録音用MDを入れ、[RECORDING] を押す。

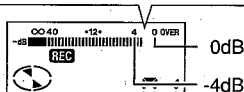


録音の待機状態になります。

- モノラル長時間モードで録音 (P.21) したり、マークをつける (P.20) ことができます。

3 [◀◀] または [▶▶] を押して、録音レベルを調整する。

最も大きなレベルのとき、-4dBから0dBの間に振れるようにします



- 録音レベル表示が“MIC H”から“MIC L”などに切り換わるとき、音が一瞬とぎれますが故障ではありません。

4 シンクロ録音のときは… [ENTER/SYNC/F.PLAY] を押す。

[ENTER/SYNC/F.PLAY] を押すたびにMIC SYNC HとMIC SYNC Lが切り換わります。(録音を開始するときの感度は、録音中でも切り換えができます。)

- 雑音などで録音が始まる場合は、MIC SYNC Lに設定してください。

↓
マイクに音や声など信号の入力があると、録音が自動的に開始します。

マニュアル録音のときは… [▶/II] を押して録音を開始する。

- 録音中に曲番をつけることができます。P.20,22

表を目安に設定してください。

	シンクロレベル表示	録音を開始するレベル
マイク入力	MIC SYNC H (小さな音でも録音開始)	00 40 -12* 4 0 OVER -24dB
	MIC SYNC L	00 40 -12* 4 0 OVER -12dB

録音を一時停止するには

シンクロ録音のとき…

- 無音状態が3秒以上続くと自動的に一時停止になります。(録音開始後約10秒間は一時停止しません。)
- [▶/II] を押すとシンクロ録音が解除され、録音の待機状態になります。
- 再び、シンクロ録音を始めるには、[ENTER/SYNC/F.PLAY] を押します。

マニュアル録音のとき…

- ▶/II を押す。
- 録音の待機状態になります。
- もう一度押すと、録音が始まります。このとき、曲番が1つ増えます。

録音を停止するには

■/OFF を押す。

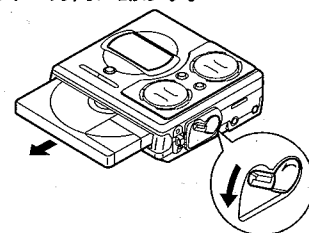
電源を切るには

停止中に、■/OFF を押す。

- TOCを記録したあと、電源が切れます。TOCについて P.47
- 停止後そのままにしておくと、約2分後に電源が自動的に切れます。

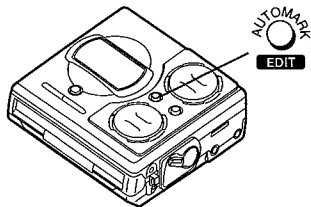
MDを取り出すには

電源を切って、本体のEJECTつまみを矢印の方向に動かす。



- 録音中や録音を止めたあとの“TOC EDIT!” (P.47) 表示中は、本体に衝撃を与えないでください。正しく録音や記録ができないことがあります。
- “TOC EDIT!” 表示中は、無理にEJECTつまみを動かさないでください。故障の原因となります。電源を切ってから、取り出してください。
- 音や声などの信号によっては、正確な位置で録音開始・一時停止しないことがあります。このようなときは、マニュアル録音を行ってください。P.18

いろいろな録音機能



■ マイク録音中、自動的にマークをつける

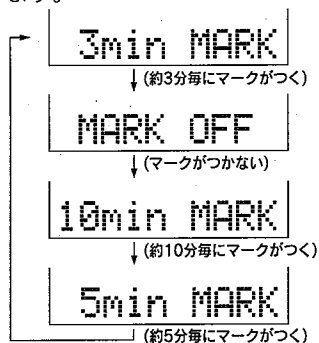
マイクから録音するときは、頭出しができるように一定間隔（お買いあげ時は、約5分間隔）でマークを自動的につけることができます。

（タイムオートマーク機能）

マークのつく間隔は以下の操作で変えることができます。

録音の待機中または録音中に…
EDIT/AUTO MARK をくり返し押す。

- 押すたびに次のように切り換わります。



- マークの間隔は、実際の録音時間と比較して多少ずれを生じることがあります。

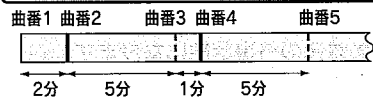
タイムオートマークについて

録音が始められると、曲番が自動的につきます。

- — はシンクロ録音中、3秒以上無音状態のときにつく曲番
- ---- はタイムオートマークでつく曲番

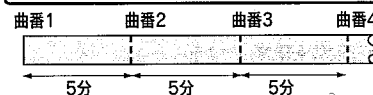
「5分」に設定したときの例

マイクシンクロ録音をしているとき



3秒以上の無音がないときは、前についた曲番から5分後にタイムオートマークがつきます。

マイクマニュアル録音をしているとき

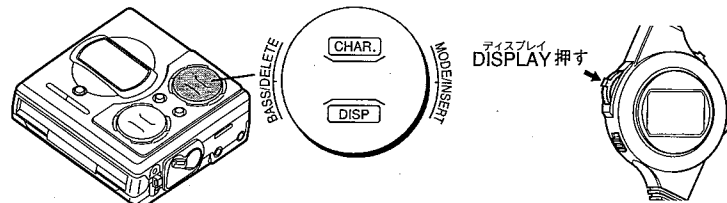


- 5分ごとにタイムオートマークがつきます。

タイムオートマークの設定を変えたとき



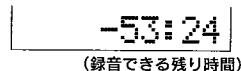
録音中に設定を10分に変更したときは、そこからさらに10分後にタイムオートマークがつきます。



■ 残り時間を確かめる

録音前や録音中に、録音できる残り時間を確かめることができます。

録音の待機中または録音中に…
DISP (DISPLAY) を押す。



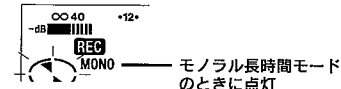
- もう一度押すと、もとに戻ります。

- 表示された残り時間は、実際の残り時間と多少異なることがあります。
P.46

■ モノラルで長時間録音する

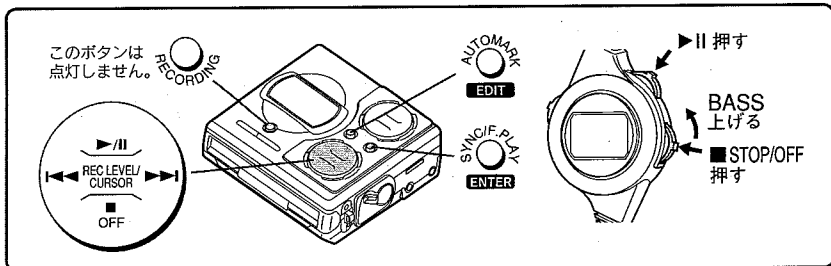
ステレオモードの約2倍の時間が録音できます。（モノラル長時間モード）
会議や講演会などを録音するときに便利です。

録音の待機中に…
MODE/INSERT を押す。



- もう一度押すと、ステレオモードに戻ります。

- 入力がステレオのときは、右チャンネルと左チャンネルの音がミックスされて録音されます。
- 録音中、ヘッドホンから聞こえるモニター音はステレオですが、録音されている音はモノラルです。
- モノラル長時間モードで録音すると、通常再生の2倍の早さで聞くことができます。
（2倍速早聞き再生）P.27
- モノラル長時間モードで録音したMDは、他のMDプレーヤーでは再生できないことがあります。



■ 曲番をつける

好きな位置で頭出しができるように、自分で曲番をつけることができます。

録音中に...

曲番をつけたい所で
RECORDING を押す。

(リモコンは、右下のシャトルを上げる。)



- 曲番が1つ増えます。

■ ひと続きの曲にする

オートマーク機能 (P.23) を使わずに、1回の録音を1つの曲番でひと続きの曲として録音することができます。

1 録音の待機中に...

EDIT/AUTO MARK を押す。

MARK OFF

(表示はすぐに消えます)

2 **II** を押し、録音を始める。

- CDやMDからデジタル入力で録音する場合は、CDやMDと同じ所に曲番がつけます。

曲番を自動的につけるとき

録音の待機中に **EDIT/AUTO MARK** を押し、“**AUTO MARK**” を表示させてから録音を始めます。

AUTO MARK

■ 曲の途中から録音する

すでに録音されている曲の途中から、新たに録音することができます。

- 新たに録音を開始した位置以降の曲は、すべて消えてしまいます。ご注意ください。

1 再生中に...

II を押し一時停止する。

2 **RECORDING** を押す。

ERASE OK?

- 録音をやめるときは、**OFF** を押します。

3 **ENTER/SYNC/F.PLAY**

を押し、停止位置以降すべてを消去します。

4 **II** を押し、録音を始める。

消したくない曲が途中にあるときは

この操作をする前に、その曲を移動してください。(P.33)

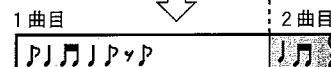
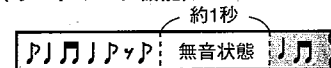
曲番について

録音すると曲番が自動的につきます。(オートマーク機能/シンクロマーク機能)

アナログ入力で録音したとき

【CD/MD以外のデジタル入力時も含む】1秒以上の無音部分を曲間として、曲番が自動的につきます。

(オートマーク機能)



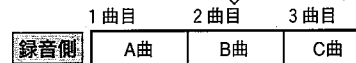
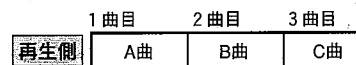
- 信号に雑音があるときなど、録音する内容によっては、正しい位置に曲番が見つからないこともあります。

デジタル入力で録音したとき

【CD/MDのみ】

CDやMDについている曲番と同じ所に、1曲ごとの曲番が自動的につきます。

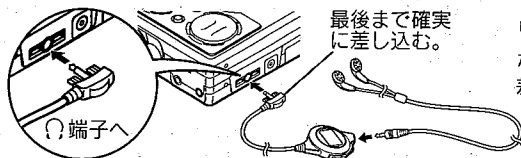
(シンクロマーク機能)



- ディスクによっては、再生側の曲番と録音されたMDの曲番が一致しないことがあります。
- 録音時に、再生側をプログラム再生、または手動で選曲しながら再生したときは、曲番が正しくつかないことがあります。
- CDの再生機器によっては、デジタル入力でも曲番が見つからないことがあります。

基本的な再生

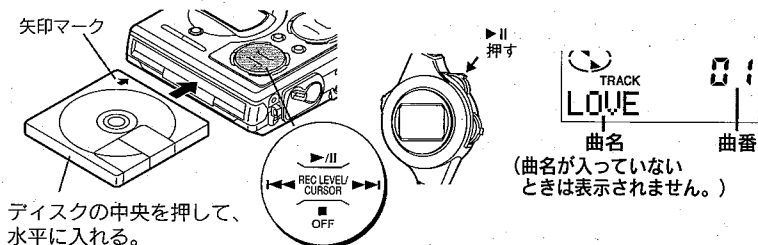
1 リモコンとヘッドホンをつなぐ。



最後まで確実に差し込む。

リモコンのプラグは、方向性がありますので、図のように差し込んでください。

2 MDを入れる。再生専用MD/誤消去防止にしたMD ⇨ オートプレイになります。誤消去防止にしていないMD ⇨ ▶/IIを押す。

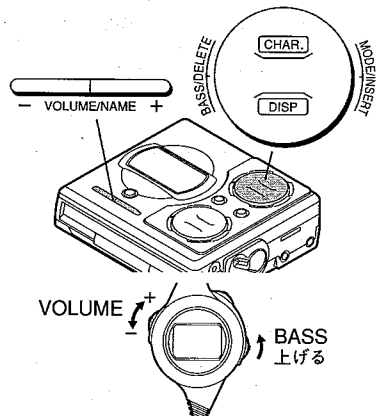


曲名 曲番
(曲名が入っていないときは表示されません。)

3 音量や低音を調整する。

音量の調整

+ボタン(シャトルを1回上に)…音が大きくなる
-ボタン(シャトルを1回下に)…音が小さくなる



Vol 15
音量 (0~30)

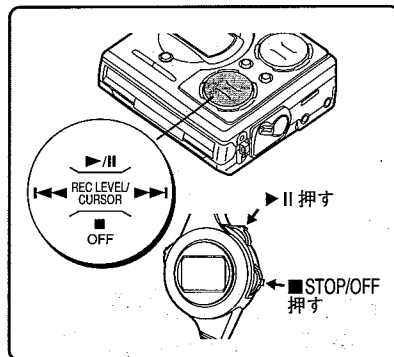
低音の調整

BASS 1 (少し強調)
BASS 2 (より強調)
BASS 3 (さらに強調)
BASS OFF (強調解除) (BASS 0)

●音量や低音の設定は、電源を切っても記憶しています。

- 最後の曲が終わると、自動的に停止します。
- モノラル長時間モードで録音されたMDは自動的にモノラル再生します。

- 録音用MDで誤消去防止 (P.13) にしていないときやオートプレイを解除 (P.40) しているときは、オートプレイは働きません。



一時停止するには

▶/IIを押す。

- もう一度押すと、再生します。

停止するには

■/OFFを押す。

- 再び再生すると、止めた所から再生します。(リジューム機能)

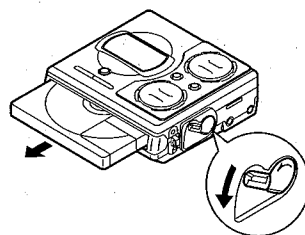
電源を切るには

停止中に、■/OFFを押す。

- 停止後そのままにしておくと、約2分後に電源が自動的に切れます。

MDを取り出すには

電源を切って、本体のEJECTつまみを矢印の方向に動かす。



ご注意

- MDを入れるときは無理に押し込まないでください。故障の原因となります。入りにくいときは、一度MDを取り出し、再度入れ直してください。
- MDを入れてもすぐに使用しないときは、電源を切ってください。そのままにしておくと、オートプレイが働いて電池が消耗します。(P.40)
- 長時間使用しないときは、電池をはずしてください。(電源が切れていても、わずかですが電池が消耗しています。)
- カーバッテリーアダプターで使用のとき(充電電池や乾電池をはずした状態)、再生中に車のエンジンキーを“切”にすると、この製品の電源も切れます。このあと、エンジンキーを“入”にすると、止めた曲の頭から再生が始まります。車種によっては、電源が切れないことがあります。



お知らせ

音のひずみについて

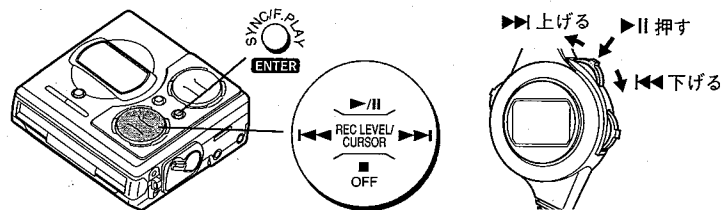
- 低音を強調しているときに音量を上げすぎると、曲によっては音がひずむことがあります。このときは、低音の強調レベルを下げるか、音量を下げてください。
- 音量レベルを26以上に設定しているときは、音のひずみを少なくするために、低音の強調レベルが自動的に調整されます。

音とびについて

- この製品は振動に対して、音とびにくくなっていますが、連続した振動に対しては、音がとぎれることがあります。

- 各ボタンを操作すると、リモコンの表示部に約7秒間照明がつきます。(バックライト P.41)

いろいろな再生機能



■ 曲の頭出しをする

次の曲を頭から聞いたり、聞いている曲を頭から聞き直すことができます。

次の曲の頭から聞くとときは…
再生中に **▶▶** を1回押すか、
リモコンのシャトルを1回上げる。

聞いている曲の頭から聞くとときは…
再生中に **◀◀** を1回押すか、
リモコンのシャトルを1回下げる。

- 最後の曲の頭で **▶▶** を押すか、リモコンのシャトルを上げると1曲目になります。
- 1曲目の頭で **◀◀** を押すか、リモコンのシャトルを下げると最後の曲になります。

曲を続けてとばすには

▶▶ または **◀◀** をくり返し押すか、シャトルをくり返し上下します。

- 表示された曲の頭から再生します。

■ 聞きたい場所を聞きながらさがす

音を聞きながら早送りや早戻しができます。

早送りするときは…
再生中に **▶▶** を押し続けるか、
リモコンのシャトルを上げ続ける。

早戻しするときは…
再生中に **◀◀** を押し続けるか、
リモコンのシャトルを下げ続ける。

- 指を離すとふつうの再生に戻ります。



お知らせ

- 早送りの状態で最後の曲の終わりまでくると、一時停止状態になります。早戻しの状態で1曲目の頭までくると再生状態になります。

さらに早くさがしたいときは

一時停止しているときに早送り/早戻しの操作をすると、再生中に操作したときよりも早くさがせます。

- 音は出ませんので、時間表示を目安にしてください。
- 指を離すと、その位置で一時停止状態になります。

■ 停止中に聞きたい曲をさがす

停止中に、聞きたい曲の曲番や曲名を選んで再生できます。

1 曲番を上げるときや次の曲名を表示するときは…

停止中に **▶▶** を何回か押すか、リモコンのシャトルを何回か上げる。

曲番を下げるときや前の曲名を表示するときは…

停止中に **◀◀** を何回か押すか、リモコンのシャトルを何回か下げる。

- 最後の曲を選んでいるときに、**▶▶** を押すか、シャトルを上げると、1曲目になります。
- 1曲目を選んでいるときに、**◀◀** を押すかシャトルを下げると、最後の曲になります。

2 **▶/II** を押し、選んだ曲を再生する。



お知らせ

- MDに曲名が記録されていない場合は、曲名は表示されません。

■ 2倍速早聞き再生をする

モノラル長時間モードで録音されたMDを2倍速で聞くことができます。

モノラル長時間モードで録音されたMDの再生中に…

ENTER/SYNC/F.PLAY を押す。

- 早聞き再生が始まります。

FAST PLAY

- 録音内容によっては、聞き取りにくいことがあります。

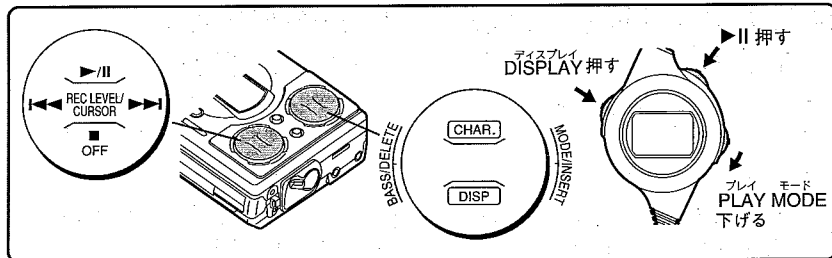
早聞き再生を一時停止するには再生中に、**▶/II** を押す。

- もう一度押すと、早聞き再生します。

通常の再生に戻すには

ENTER/SYNC/F.PLAY を押す。

- 早聞き再生中に、ステレオモードで録音された曲番になったときは解除されます。
- もう一度、早聞き再生で聞くとときは、**ENTER/SYNC/F.PLAY** を押します。

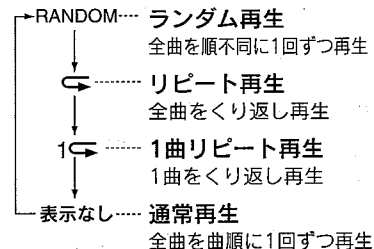


■ ランダム再生、リピート再生をする

順不同に曲を選んで再生（ランダム再生）したり、全曲または再生中の曲をくり返して再生（リピート再生）することができます。

MODE/INSERT を押す。
(リモコンは、右下のシャトルを下げる。)

押すたびに、次のように切り換わります。



● 停止中に操作したときは、再生方法を選んだあと、**▶/II**を押します。



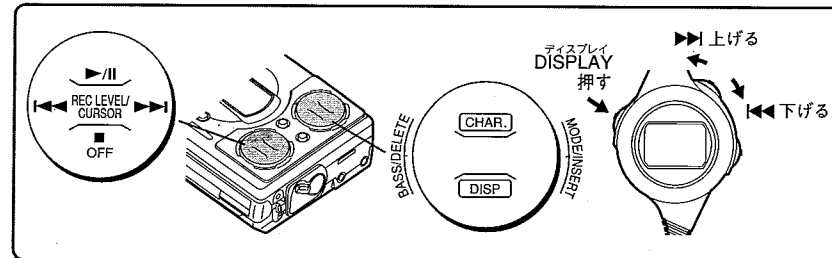
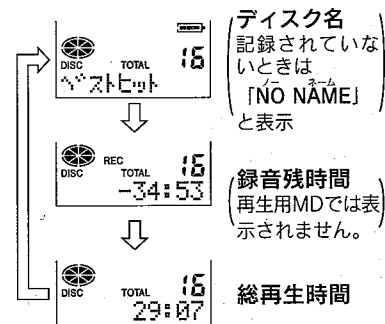
お知らせ

- リピート再生状態にしておくと、最後の曲から1曲目への早送り、または1曲目から最後の曲への早戻しができます。
- ランダム再生は、この製品が自動的に曲を選んで再生します。ランダムで全曲を再生し終わると、自動的に止まります。
- ランダム/1曲リピート再生中は、聞いている曲をこえて早送り/早戻し再生はできません。
- ランダム再生のときは、聞いている曲以前への頭出しはできません。
- “**TOC**”表示が出ているときは、リピート再生はできません。

■ 録音残時間・総再生時間の確認

停止中に、録音残時間や総再生時間が確認できます。

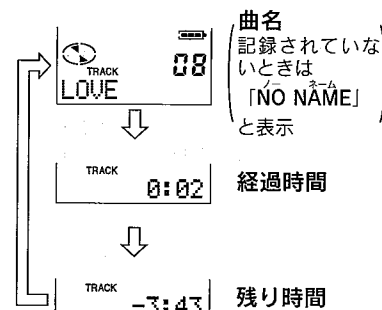
停止中に...
DISP (DISPLAY)を押す。
押すたびに、次のように変わります。



■ 経過時間・残り時間の確認

再生中に、聞いている曲の経過時間や残り時間が確認できます。

再生中に...
DISP (DISPLAY)を押す。
押すたびに、次のように変わります。



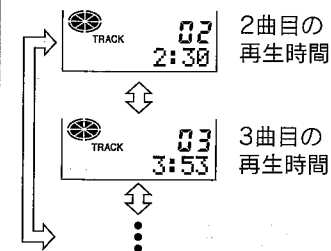
お知らせ

- **【文字情報 英語】**マークがついている再生専用ミニディスク（市販の音楽ソフト）などは、文字情報（曲名など）を表示します。
- この製品は、MDの標準規格に従ったカタカナ文字の表示が可能になっています。規格に合わないMDを再生した場合は、カタカナ表示にならないことがあります。
- 再生中の経過時間表示は実際の時計の時間と異なることがあります。

■ 各曲の再生時間の確認

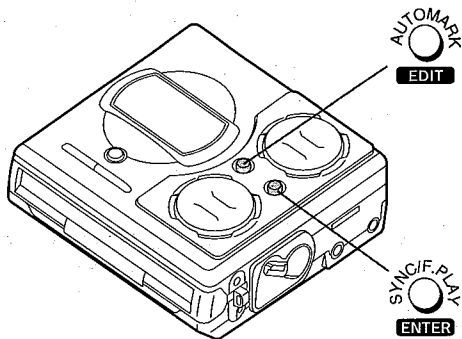
停止中に、選んだ曲の再生時間が確認できます。

停止中に...
▶▶ または **◀◀** を押して
(リモコンは、右上のシャトルを上下する。)
曲番や曲名を選び、
DISP (DISPLAY)を押す。



● 選曲をくり返すと、選んだ曲の再生時間を表示します。

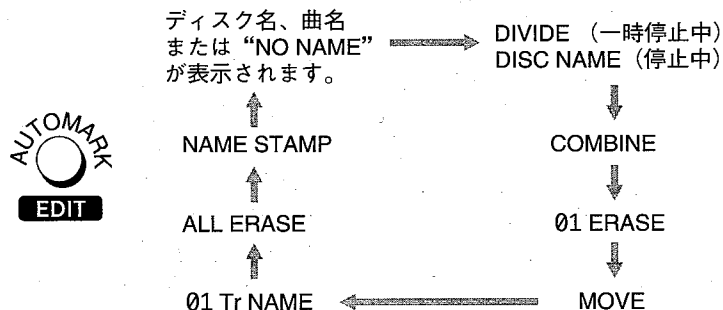
MDを聞く



■ 編集メニューを選ぶには

停止中や一時停止中に…

1 **EDIT/AUTO MARK** をくり返し押し、編集したいメニューを選ぶ。



- 編集メニューを選んでいるときは、リモコンに“EDIT”と表示されます。

2 **ENTER/SYNC/F.PLAY** を押すと、それぞれの編集モードに入る。

■ 1曲ずつ曲を消す

消したい1曲を消すことができます。
曲名も消えます。

- もとには戻せません。よく確かめてから操作してください。

消したい曲の再生中に…

1 **▶/||** を押して一時停止する。

2 **EDIT/AUTO MARK** をくり返し押し、“ERASE”を選ぶ。

03 ERASE

3 **ENTER/SYNC/F.PLAY** を押す。

03 ERASE?

(消してもよいかどうかの確認です)

- 操作を中止するときは、**■/OFF** を押します。

4 **ENTER/SYNC/F.PLAY** を押す。

- 曲が消え、総曲数が表示されます。
- 消した曲以降の曲番は、1つずつ下がります。

続けて他の曲を消すときは

1～4の操作をくり返します。

■ すべての曲を消す

MD内の曲をすべて消すことができます。
ディスク名・曲名も消えます。

- もとには戻せません。よく確かめてから操作してください。

停止中に…

1 **EDIT/AUTO MARK** をくり返し押し、“ALL ERASE”を選ぶ。

ALL ERASE

- **EDIT/AUTO MARK** を2秒以上押し続けて、選ぶこともできます。

2 **ENTER/SYNC/F.PLAY** を押す。

ERASE OK?

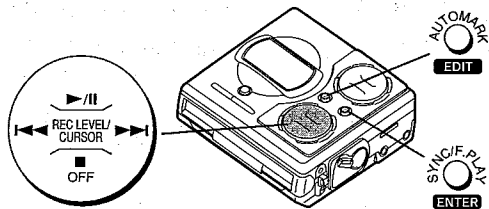
(消してもよいかどうかの確認です)

- 操作を中止するときは、**■/OFF** を押します。

3 **ENTER/SYNC/F.PLAY** を押す。

BLANK DISC

- すべての曲が消えます。



■ 1つの曲を分ける

1つの曲を、希望の位置で2つの曲に分けることができます。

1 分ける曲の再生中に…
分きたい所で ▶/|| を押し、一時停止する。

2 [EDIT/AUTO MARK] をくり返し押し、
“DIVIDE” を選ぶ。

3 [ENTER/SYNC/F.PLAY] を押す。

DIVIDE OK?

(分けてもよいかどうかの確認です)

- 操作を中止するときは、■/OFF を押します。

4 [ENTER/SYNC/F.PLAY] を押す。

- 曲が分けられ、うしろの曲の頭で一時停止状態になります。
- 分けた曲以降の曲番は、1つずつ上がります。

分ける曲に曲名がついているとき

曲を分けると、両方の曲に同じ曲名がつきます。ただし、“TOC FULL”状態では、うしろの曲に曲名がつかないことがあります。

■ TOC FULL (P.49)

分けられる曲数について

1枚のMDで最大255曲まで曲を分けることができます。ただし、254曲以下でも曲を分けられないことがあります。

■ TOC FULL (P.49)

■ 曲を移動する

指定した曲を、希望する位置に移動することができます。

1 移動したい曲の再生中に…
▶/|| を押し、一時停止する。

2 [EDIT/AUTO MARK] をくり返し押し、
“MOVE” を選ぶ。

MOVE

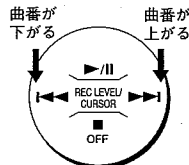
3 [ENTER/SYNC/F.PLAY] を押す。

05 → 01 ?

(移動してもよいかどうかの確認です)

- 操作を中止するときは、■/OFF を押します。

4 ◀ または ▶ を押し、移動先を選ぶ。



05 → 03 ?

(3曲目に移動するとき)

5 [ENTER/SYNC/F.PLAY] を押す。

- 曲が移動し、その曲の頭で一時停止状態になります。
- 移動した曲以降の曲番は、自動的に新しい曲番に変わります。

■ 2つの曲をつなぐ

連続した2つの曲を、1つの曲にすることができます。

1 つなぐうしろの曲の再生中に…
▶/|| を押し、一時停止する。

2 [EDIT/AUTO MARK] をくり返し押し、
“COMBINE” を選ぶ。

COMBINE

3 [ENTER/SYNC/F.PLAY] を押す。

05 + 06 ?

(つないでもよいかどうかの確認です)

- 操作を中止するときは、■/OFF を押します。

4 [ENTER/SYNC/F.PLAY] を押す。

- 曲がつながり、つながった曲の頭で一時停止状態になります。
- つないだ曲以降の曲番は、1つずつ下がります。

離れた2つの曲をつなぐとき

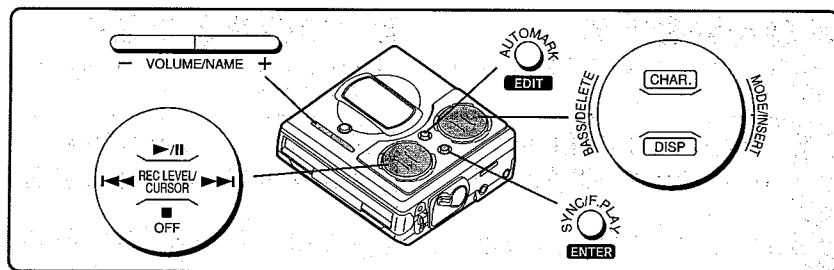
曲を移動して2つの曲を連続させたあと、1曲につなぎます。

つなぐ曲に曲名がついているとき

曲名は、前の曲のものになります。ただし、前の曲に曲名がついていないときは、うしろの曲名がつけます。

こんなときはつなげません

- モノラル長時間モードで録音した曲と、ステレオモードで録音した曲。
- デジタル入力で録音した曲と、アナログ入力から録音した曲。
- 12秒以下の短い曲。



■ ディスクや曲に名前をつける

ディスク全体の名前や曲ごとの名前をつけます。それぞれ最大100文字まで入力できます。(1枚のMDには合わせて約1,700文字まで文字を入れられます。)

ディスク名をつけるときは
停止中に…

- 1 **EDIT/AUTO MARK** をくり返し押し、**“DISC NAME”** を選ぶ。

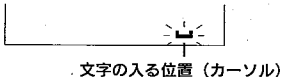
DISC NAME

曲名をつけるときは
つけたい曲の一時停止中に…

- 1 **EDIT/AUTO MARK** をくり返し押し、**“Tr NAME”** を選ぶ。

08Tr NAME

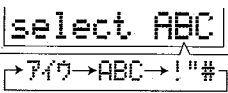
- 2 **ENTER/SYNC/F.PLAY** を押す。



文字の入る位置 (カーソル)

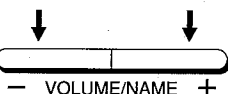
- 文字入力状態になります。
- 操作を中止するときは、**OFF** を押します。

- 3 **CHAR.** をくり返し押し、文字の種類を選ぶ。



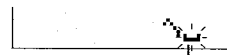
- 選んだ文字の種類が約1秒間表示されます。

- 4 **VOLUME/NAME** の **+** または **-** を押して、入りたい文字を選ぶ。



- ボタンを押し続けると、連続して切り換わります。

- 5 入りたい文字が表示されたら…
▶▶ を1回押す。

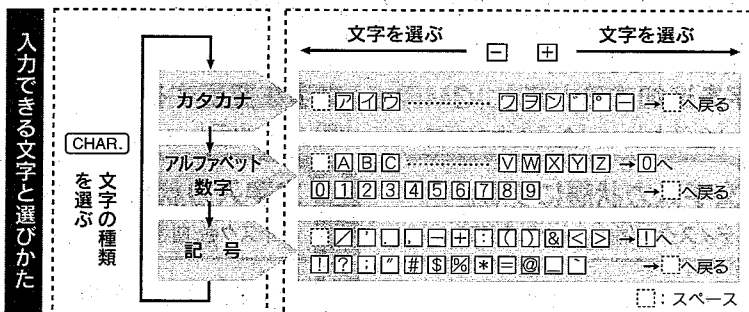


次の文字の入る位置

- 操作3~5をくり返し、必要な文字をすべて入力します。同じ種類の文字を続けて入力するときは、3の操作は必要ありません。

- 6 文字をすべて入力したあと…

ENTER/SYNC/F.PLAY を押す。● ディスク名や曲名が登録されます。



小文字を入れるとき

操作4で大文字を入れたあと **DISP** を押す。

- もう一度押すと、大文字に戻ります。

■ 小文字に変換できる文字

アイウエオツヤユヨ A~Z

文字のまちがいに気がついたとき

■ 文字を消すときや直すとき

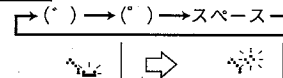
1. **◀◀** または **▶▶** で、消したい文字をカーソルの上に移動する。
2. 消すときは **BASS/DELETE** を押し、直すときは正しい文字を入れる。

- 登録後に文字を直すとき P.36

濁音や半濁音、スペースを入れるとき

濁音や半濁音つきの文字 (“べ” や “バ” など) は、1文字で入れることはできません。濁音や半濁音をつけたい文字を入れたあと、次の文字として濁音 (゜) や半濁音 (゛) を入れます。

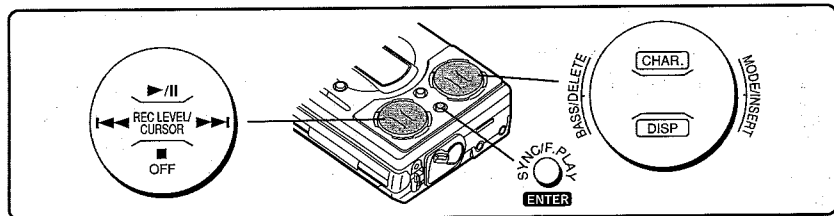
1. **▶▶** でカーソルを右に移動する。
2. **DISP** を押して入れる。



- **+** や **-** を押して選ぶこともできます。

他の機器で聞くときのご注意

この製品でカタカナを入力したとき、他の機器では正常に表示されないことがあります。また、カタカナ機能のない機器で再生したときは、アルファベットで表示されます。



■ ディスク名や曲名を修正する

登録したディスク名や曲名を修正（変更／追加／削除）できます。

- 他の機器で101文字以上のディスク名や曲名を入れたMDは、101文字目以降の修正はできません。

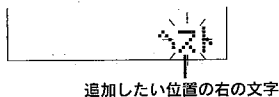
文字を追加するとき

例) 「ヘスト」 → 「ベスト」

1 文字入力状態にする。

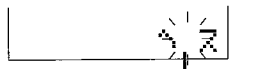
ディスク名/曲名: P.34操作1~2

2 ◀◀または▶▶を押して、追加したい位置の右の文字をカーソルの上に重ねる。



追加したい位置の右の文字

3 [MODE/INSERT] を押す。



追加したい位置の右の文字

- スペースが入ります。

4 追加する文字を入れ…

[ENTER/SYNC/F.PLAY] を押す。



文字を変更するとき

例) 「ヒツテ」 → 「ヒツ」

1 文字入力状態にする。

ディスク名/曲名: P.34操作1~2

2 ◀◀または▶▶を押して、変更したい文字にカーソルを重ねる。

3 変更する文字を入れ… [ENTER/SYNC/F.PLAY] を押す。

文字を削除するとき

例) 「BESUT」 → 「BEST」

1 文字入力状態にする。

ディスク名/曲名: P.34操作1~2

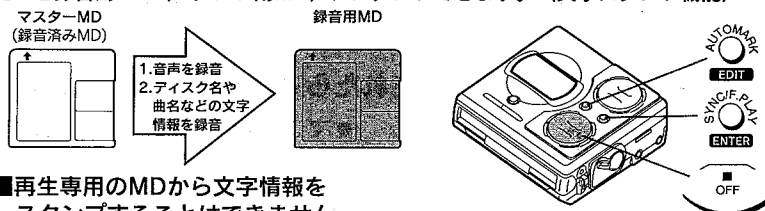
2 ◀◀または▶▶を押して、削除したい文字にカーソルを重ねる。

3 [BASS/DELETE] を押す。

4 [ENTER/SYNC/F.PLAY] を押す。

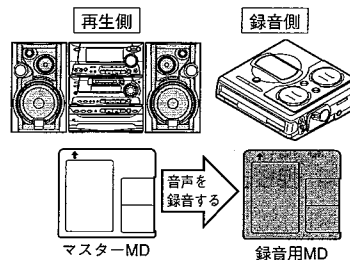
■ 文字情報を丸ごとスタンプする

あらかじめ曲と文字の入ったMD（マスターMD）からディスク名や曲名などの文字情報を丸ごと録音用MD（スタンプ用MD）にスタンプできます。（文字スタンプ機能）



■再生専用のMDから文字情報をスタンプすることはできません。

1 マスターMDから音声を録音用MDに録音する。



- 基本的な録音のしかたをごらんください。（P.14~19）
- このときは、音声だけが録音され、文字情報はまだ入りません。
- 録音したMDの総曲数がマスターMDの総曲数と一致しているか確かめてください。もし、一致していないときは、編集操作で曲をつないだり、分けたりしてください。（P.32、33）

2 録音が終われば…

録音用MDを取り出し、マスターMDをDMC-K7Rへ入れる。

- マスターMDと録音用MDの区別をつけておいてください。

3 停止中に…

[EDIT/AUTO MARK] をくり返し押し、“NAME STAMP”を選ぶ。
NAME STAMP

4 [ENTER/SYNC/F.PLAY] を押す。

READ OK?

（マスターMDの文字情報を読み込んでよいかどうかの確認です）

- 操作を中止するときには、[OFF]を押します。

電池残量の確認

誤動作を防止する

動作中は、電池残量表示 () が
です。

混雑した電車などで、誤って操作ボタ
ンが押されても、現在の状態が変わら
ないようにすることができます。

5 ENTER/SYNC/F.PLAY を押す。

Reading!

- マスターMDの文字情報を読み込ん
でいます。

6 “CHANGE MD” と表示されたらマスターMDを取り出す。

CHANGE MD

- マスターMDを取り出すとき、電源
を切らないでください。
操作が中止されます。

7 録音用MDをDMC-K7Rへ入れる。

INSERT MD



TOC READ



WRITE OK?

(文字情報を記録してよいか
どうかの確認です)

- 操作を中止するときは、/OFF を
押します。

8 ENTER/SYNC/F.PLAY を押す。

Writing!



COMPLETE

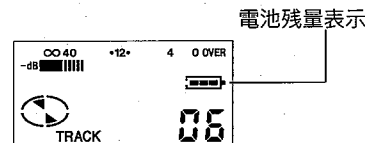
- 文字情報の記録が終わり、停止状態
になります。



お知らせ

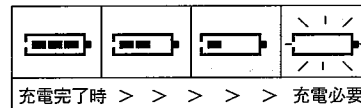
- マスターMDと録音用MDとの総曲
数 (トラック数) が一致しないとき
は、次のように表示され、電源が切
れます。
- このようなときは、編集操作で総曲
数を一致させ、操作2からやり直し
てください。

Can't WRITE



残りわずかになってくると表示全体
が点滅します。充電しなすか、新
しいアルカリ乾電池と取り換えてく
ださい。

電池残量表示のみかた



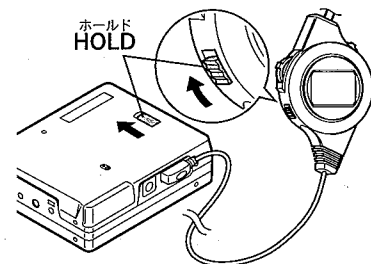
- 完全に消費すると、 エンパティ
ロー バッテリー
(Lo BATT) が表示されたあと、電
源が切れます。



お知らせ

- 充電電池や乾電池でお使いの場合、
電源を入れた時に電池の容量を確認
するために、約20秒間は電池残量
表示が安定しないことがあります。
- 付属のACアダプターや別売のカー
バッテリーアダプターで使用するこ
ときは、電池残量表示はできません。
- 動作内容によって目盛が増減するこ
とがあります。
- 充電電池と乾電池を併用しているとき
は、まず充電電池を使用し、そのあと
乾電池を使用します。
電池残量表示は、使用している側の
残量を表示するため、切り換え時に
目盛が増えます。

HOLDスイッチを矢印の 方向にずらす。



- 解除するときは、矢印と反対の
方向にずらします。

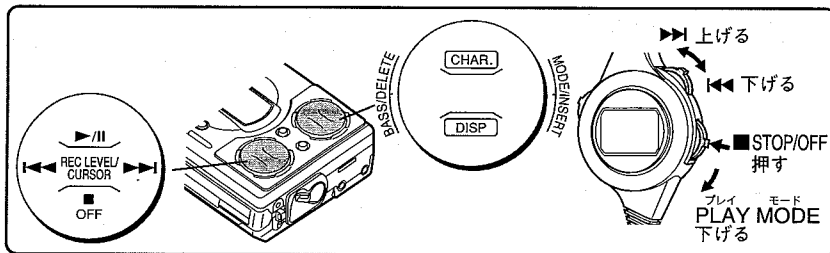
	本 体	リモコン
リモコンでも本体でも 操作できるようにする	ホールド解除	ホールド解除
リモコンだけで操作 できるようにする	ホールド	ホールド解除
本体だけで操作 できるようにする	ホールド解除	ホールド
リモコンでも本体でも 操作できなくする	ホールド	ホールド

持ち運ぶときにも便利

電源を切った状態でホールド機能を働か
せておけば、誤って電源が入ることな
く、電池の消耗を防ぐことができます。

便
利
な
使
い
か
た

いろいろな設定を変える



■ キータッチ音を消す

ボタンを押したときの“ピツ”という音を鳴らさないようにすることができます。

1 停止中に…

セッ アッ

「SET UP」が表示されるまで

MODE/INSERTを押す。

(リモコンは、右下のシャトルを下げる。)

- 指を離すと、「BEEP ON(BEEP 1)」が表示されます。

2 **MODE/INSERT**を押す。

(リモコンは、右下のシャトルを下げる。)

「BEEP OFF(BEEP 0)」が表示され、確認音が消えます。

キータッチ音を鳴らすときは

「BEEP ON(BEEP 1)」を表示させます。

3 **■/OFF**を押す。



お知らせ

お買いあげ時には、キータッチ音/オートプレイ/オートパワーセーブは「ON」に、バックライトは「EL ON 1」に設定されています。

■ オートプレイの解除

MDを入れると電源が自動的に入り再生が始まります。再生が自動的に始まらないようにすることができます。

1 停止中に…

セッ アッ

「SET UP」が表示されるまで

MODE/INSERTを押す。

(リモコンは、右下のシャトルを下げる。)

- 指を離すと、「BEEP ON(BEEP 1)」または「BEEP OFF(BEEP 0)」が表示されます。

2 「A-PLAY ON(auto PL)」が表示されるまで **◀◀** または **▶▶**を押す。

(リモコンは、右上のシャトルを上下する。)

3 **MODE/INSERT**を押す。

(リモコンは、右下のシャトルを下げる。)

「A-PLAY OFF(PL off)」が表示され、オートプレイが解除されます。

オートプレイにするときは

「A-PLAY ON(auto PL)」を表示させます。

4 **■/OFF**を押す。

■ バックライトの設定を変える

1 停止中に…

セッ アッ

「SET UP」が表示されるまで

MODE/INSERTを押す。

(リモコンは、右下のシャトルを下げる。)

- 指を離すと、「BEEP ON(BEEP 1)」または「BEEP OFF(BEEP 0)」が表示されます。

2 「EL ON 1(EL on 1)」が表示されるまで **◀◀** または **▶▶**を押す。

(リモコンは、右上のシャトルを上下する。)

3 **MODE/INSERT**を押す。

(リモコンは、右下のシャトルを下げる。)

EL ON 1(EL on 1) → EL ON 2(EL on 2)

↑ EL OFF(EL off) ↓

「EL OFF(EL off)」バックライトが消えます。

バックライトをつけるときは

「EL ON 1(EL on 1)」

各ボタンを操作すると約7秒間照明がつきます。

「EL ON 2(EL on 2)」

充電電池/乾電池を使用時は、約7秒間照明がつきます。

ACアダプター、カーアダプター使用時は、電源を入ると照明が常につきま。

(明るさが少し暗くなります。)

4 **■/OFF**を押す。

音とびガードメモリーについて

再生中は最大約40秒間の情報を蓄積しています。このため、外部からの振動があっても、音が途切れることなく再生できます。

■ オートパワーセーブの解除

振動が多い所で使用するときは、この機能を解除して、音とびをしにくくすることができます。このとき、電池持続時間は短くなります。

1 停止中に…

セッ アッ

「SET UP」が表示されるまで

MODE/INSERTを押す。

(リモコンは、右下のシャトルを下げる。)

- 指を離すと、「BEEP ON(BEEP 1)」または「BEEP OFF(BEEP 0)」が表示されます。

2 「AUTO Psave(auto PS)」が表示されるまで **◀◀** または **▶▶**を押す。

(リモコンは、右上のシャトルを上下する。)

3 **MODE/INSERT**を押す。

(リモコンは、右下のシャトルを下げる。)

「Psave OFF(PS off)」が表示され、オートパワーセーブが解除されます。

オートパワーセーブにするときは

「AUTO Psave(auto PS)」

を表示させます。

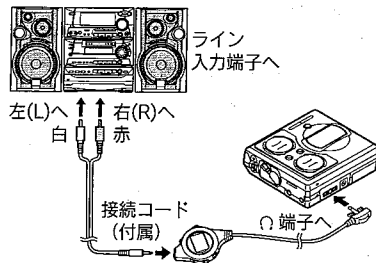
4 **■/OFF**を押す。

オートパワーセーブ機能について

音楽の情報蓄積時間を10～40秒に調整して消費電力を少なくしています。オートパワーセーブを解除すると、情報蓄積時間が常に40秒になります。(ACアダプター、カーバッテリーアダプター使用時は、モードに関係なく、常に情報蓄積時間が40秒になります。)

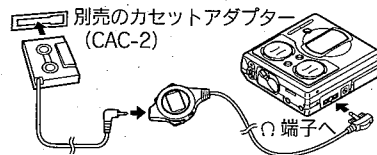
他の機器と接続して使う

ステレオやラジカセで聞く、
またはテープに録音する



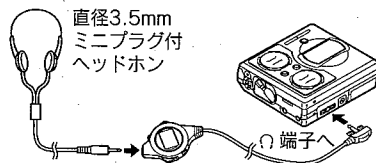
- 録音は、アナログ録音になります。

カーステレオで聞く



- カーステレオによっては、別売のカセットアダプターが使用できないものがあります。
- カーバッテリーで使用する場合は、充電池を抜いて使用してください。

市販のヘッドホンで聞く



- 使用するヘッドホンによって、電池持続時間が変わります。
- ヘッドホンは、直接本体につなぐこともできます。



お知らせ

- プラグは確実に差し込んでください。接触不良などにより、正しく再生できないことがあります。
- ステレオやラジカセなど他の機器で聞くとときは、この製品の音量を“VOL30”にしておくことをおすすめします。

音のエチケット

- 楽しい音楽もヘッドホンからもれる「シャカシャカ」という音は、周囲の人にとって気になるものです。特に電車やバスの中などの密集した場所では音量を下げ、ご迷惑にならないようにしてください。

MDについて

MD自体はカートリッジに収納されていますので、ホコリ・キズ・指紋などがつきにくく手軽に取り扱えます。

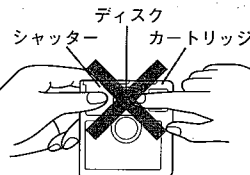
- ただし、カートリッジのすき間から入る砂ボコリやカートリッジのよごれなどが誤動作の原因となることもありますので、次のことに注意してください。

取り扱いについて

■ シャッターを開けて、ディスクに直接触れないで！

■ MDは絶対に分解しないで！

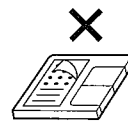
- シャッターは無理に開けるとこわれます。
- カートリッジ表面にホコリやゴミなどがついたときは、乾いた布でふき取ってください。



ラベルを貼り付けるときのお願い

MDカートリッジにラベルを正しく貼り付けないと、MDが内部につまって取り出せなくなることがあります。

- ラベルは指定の場所（エリア内）に正しく貼ってください。（指定エリア以外には貼り付けしないでください。）
- ラベルを重ねて貼り付けしないでください。
- ラベルがめくれれたり、浮いたりしているときは、新しいラベルに貼り換えて使用してください。



保管場所について

必ず専用ケースに入れて保管してください。

- 次のような所に置かないでください。
 - ー 直射日光が長時間あたる場所（特に密閉した自動車内等）
 - ー 温度や湿度の高い所
 - ー カートリッジの中に砂やホコリが入りやすい場所（海辺や砂地等）

充電池について

- リチウムイオン充電池は、使用しなくても最低3か月に1回は充電してください。
- 充電池は約300回充電することができます。
- フル充電しても電池持続時間が半分くらいになったり、充電できないときは、充電池を新しいもの（別売品のNB-L10A）と交換してください。

- 充電が完了したあと、そのまま充電状態にしておいても差しつかえありません。
- 寒い所では電池持続時間が短くなります。
- この製品や充電池の充電端子に異物（金属など）をはさんだり、汚さないでください。充電端子が汚れていると、使用時間が短くなったり、充電できないことがあります。
- 充電後や使用後、充電池が暖かくなることがありますが、異常ではありません。

「故障かな？」と思ったら

次のような場合は故障でないことがありますので、修理を依頼される前に、もう一度お調べください。それでも具合の悪いときは、53～55ページの「保証とアフターサービス」をごらんのうえ修理を依頼してください。

こんなとき	ここをおたしかめください
電源が入らない	<ul style="list-style-type: none"> ● ACアダプターがはずれていませんか。 P.11 ● 電池が消耗していませんか。 P.10 ● 誤動作防止状態になっていませんか。 P.39 ● 「つゆつき現象」がおきていませんか。 P.45 ● 衝撃や静電気などの影響を受けていませんか。 P.45
音が聞こえない	<ul style="list-style-type: none"> ● 音量が最小になっていませんか。 P.24 ● リモコンやヘッドホンがはずれていませんか。 P.24 ● 音楽用MD以外のMDデータディスクを再生していませんか。
操作ボタンを押しても操作ができない	<ul style="list-style-type: none"> ● 誤動作防止状態になっていませんか。 P.39 ● 電池が消耗していませんか。 P.10 ● リモコンやヘッドホンがはずれていませんか。 P.24
音がとぎれる	<ul style="list-style-type: none"> ● 電池が消耗していませんか。 P.10 ● 振動が多い場所で使用していませんか。
MDが取り出せない	<ul style="list-style-type: none"> ● 曲番や文字情報などの書き込み中ではありませんか。 <small>トラック エディット</small> (“TOC EDIT!” 表示)。 P.47 ● 録音中または編集集中ではありませんか。
録音や編集ができない	<ul style="list-style-type: none"> ● MDが誤消去防止状態になっていませんか。 P.13 ● 他の機器と正しく接続されていますか。 P.14 ● 録音中または編集集中に、ACアダプターがはずれたり停電になっていませんか。 ● 誤動作防止状態になっていませんか。 P.39 ● 外部機器の光出力がでていますか。 <p>外部機器の取扱説明書を読んでください。</p>

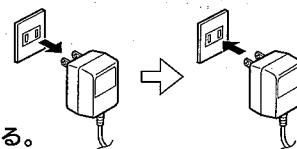
-
- この製品をテレビ、スピーカーなど磁気の帯びたものの近くで使用したり、放置しないでください。故障の原因となります。
 - ラジオやテレビに雑音や映像の乱れが生じるときは、この製品を離してください。

異常が起きたら

この製品を使用中に、衝撃、過大な静電気、または落雷によってコンセントから異常な電圧が流れた場合や、誤った操作をした場合などに、操作を受けつけないなどの異常が発生することがあります。

このようなときには、次のようにしてください。

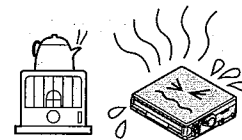
- ① ACアダプターをコンセントからはずす。
- ② 電池をはずす。
- ③ 約30秒間そのままにしておく。
- ④ ACアダプターをコンセントにつないで操作する。



つゆつき現象について

次のような場合には、内部のレンズやディスクにつゆ（水滴）がつくことにより、正常な動作をしなくなることがあります。

- 暖房をつけた直後
- 湯気や湿気が立ちこめている部屋に置いてあるとき
- 冷えた所から急に暖かい所に移動したとき



つゆを取るには

MDを取り出して約1時間くらい置いておけば、つゆが取り除かれ、正常な動作をするようになります。

録音中に停電すると

ACアダプターのみを使用して録音（トラックTOC情報が書き込まれていない状態）しているときに停電があると、そのときの録音内容は消えてしまいます。

- 充電された充電池が入っているときには、停電しても録音は完了します。

MDのシステム上の制約

MDは録音方法や編集のしかたによって、次のような症状がでることがありますが、故障ではありません。

こんなとき	このような制約があります
● MDの最大録音時間（60分、74分）に満たなくても“DISC FULL”または“TOC FULL”が表示されることがある	録音時間に関係なく、曲数が最大（254曲）になると録音できなくなります。また、録音・編集をくり返したMDやMDにキズがある場合（その部分は自動的に録音不可となる）は、上記未満でも録音できないことがあります。
● 短い曲を何曲消しても録音の残り時間が増えないことがある	MDの録音残り時間を表示するとき、12秒以下の無録音部分は無視されます。このため短い曲を何曲消しても残り時間が増えないことがあります。
● MDに録音した時間と残りの時間の合計が最大録音時間（60分、74分）に一致しないことがある	通常は、1クラスタ（約2秒）を録音の最小単位として録音されます。これに満たない曲でも約2秒間のスペースを使います。たとえば3秒の曲でも2クラスタ（約4秒）のスペースを使います。このため、表示された残り時間よりも実際に録音できる時間が少なくなることがあります。
● 編集で曲と曲をつなげないことがある	録音・編集をくり返して行ったMDでは、曲をつなげること（COMBINE）ができないことがあります。
● 録音された曲を早戻し／早送りすると、音のとぎれが長いことがある	録音・編集をくり返して行ったMDでは、1つの曲が分散して記録されることがあるので、早戻し／早送り中に音がとぎれることがあります。
● 曲の途中で曲番がつくことがある	録音するMDにゴミやキズがあると、曲番がつくことがあります。
.....	
こんなときは、デジタル入力で録音できません	
● デジタル録音したMDを、さらにデジタル入力で他のディスクに録音しようとしたとき	

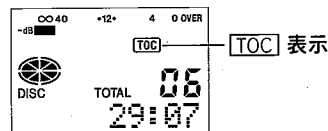
TOCについて

トック
TOC（Table of Contentsの略）とは、曲番や録音場所など、曲を認識するための目次情報です。再生時の頭出しがすばやくできたり、自動的に空いている場所に録音できるのは、このTOCでMD全体を管理しているからです。

- TOCは、曲や音声とは別の場所（MD内）に記録されています。

TOCの記録について

録音や編集をすると、画面に“TOC”が表示されます。

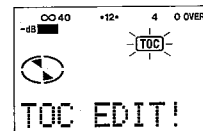


これは、録音や編集によって、TOCの内容が変更されていることを示しています。

- この時点では、まだMDには記録されていません。

TOCはいつ記録される？

TOCは停止中に **■/OFF** を押して、この製品の電源を切ると、自動的に記録されるようになっています。



TOCの記録が終わると、電源が切れます。



ご注意

TOC表示中には

“TOC”や“TOC EDIT!”が表示されているときは、次のことはしないでください。

- ・ 本体に衝撃を与えない。
 - ・ ACアダプターを抜かない。
 - ・ 充電池や乾電池を抜かない。
- TOCが正しく記録されないため、録音や編集した内容が消えます。



お知らせ

- “TOC”が表示されているときは、MDは取り出せません。電源を切ってから、取り出してください。

編集は続けて行えます

編集内容の書き込みは、いくつかの編集作業のあと、最後にまとめて行ってもかまいません。

こんな表示がでたら

表示	意味	このようにしてください
<small>バッテリー エンプティ</small> BATT EMPTY (Lo BATT)	● 充電電池や乾電池の残量がなくなった P.39	● 充電または乾電池を交換する (ACアダプターを使う)
<small>ブランク ディスク</small> BLANK DISC (BLANK)	● 音楽や文字情報が記録されていない	● 再生するときは、録音されたMDと取り換える
<small>キャンセット コピー</small> Can't COPY (Not REC)	● コピー禁止のものから録音しようとした	● 付属の接続ケーブルを使ってアナログ入力で録音する
<small>キャンセット エディット</small> Can't EDIT	● 編集できない	● 曲の停止位置を変えて編集してみる
<small>キャンセット レコード</small> Can't REC (Not REC)	● ショックやディスクのキズで正しく録音できなかった	● 録音をやり直すか、他の録音用MDと取り換える
<small>キャンセット ライト</small> Can't WRITE	● スタンプできない P.37	● 曲数を確かめる
<small>ディフェクト</small> DEFECT (DEFECT)	● ディスクにキズがある	● 再生した音が異常であれば録音をやり直す ● 他の録音用MDと取り換える
<small>デジタルインアンロック</small> Din UNLOCK (UN LOCK)	● デジタルケーブルの接続不良 P.14 ● 再生する機器から出力信号が出ていない	● デジタルケーブルをしっかりと接続する ● 音とびを防ぐ機能がついているポータブルCDプレーヤーでは、そのスイッチを“切”にする ● 接続した機器を再生してみる
<small>ディスク エラー</small> DISC ERROR (E-DISC)	● ディスクにキズがついている	● MDをもう一度入れ直す ● 他のディスクと取り換える
<small>ディスク フル</small> DISC FULL	● MDに録音できる空きがない	● 他の録音用MDと取り換える
<small>ホールド</small> HOLD (HOLD)	● 本体が誤動作防止状態になっている P.39	● HOLDスイッチをもとに戻す

() 内はリモコンの表示です。

表示	意味	このようにしてください
<small>ロックド</small> LOCKED <small>ロック エラー</small> LOCK ERROR	● 録音中、または編集中にMDを取り出そうとした	● 電源を切ってからMDを取り出す
<small>ノー ディスク</small> NO DISC	● MDが入っていない	● MDを入れる
<small>パワー</small> POWER ?	● 専用以外の電源を使用している	● 専用の電源を使用する
<small>プレイバック ディスク</small> PB DISC <small>プロテクトディッド</small> PROTECTED	● MDが誤消去防止状態になっている P.13 ● 再生専用MDに録音や編集しようとした P.13	● 誤消去防止状態をもとに戻す ● 録音用MDと取り換える
<small>ソーリー</small> SORRY (SORRY)	● 曲番を検索中または書き込み中のため操作できない	● 少し待って操作する
<small>システム エラー</small> SYSTEM ERR (E-SYS)	● 自己診断により故障と判断した	● お買いあげの販売店に修理をお申し付けください
<small>温度 オーバー</small> TEMP OVER (E-TEMP)	● 温度が高くなりすぎた	● 電源を切ってしばらく休ませる
<small>トラック エラー</small> TOC ERROR※ (E-TOC※) [※は数字や記号]	● ディスクに大きなキズがある	● 他のMDと取り換える
<small>トラック フル</small> TOC FULL	● 文字情報 (ディスク名/曲名など) を記録する空きがない	● 他の録音用MDと取り換える
<small>トラック プロテクト</small> Tr. Protect	● 曲が消去防止状態になっている	● 曲を録音した機器で編集する
<small>ユーニトラック エラー</small> U TOC ERROR (E-UTOC)	● ディスクに大きなキズがある ● 記録した信号に異常がある	● 他のMDと取り換える ● 停止中に [EDIT/AUTO MARK] を2秒以上押してすべての曲を消し、録音をやり直す
<small>ディスク</small> ? DISC <small>ディスク</small> (?DISC)	● 音楽以外 (データなど) が入ったMDを再生した ● 記録した信号に異常がある	● データなどが入ったMDは再生できません ● 他のMDと取り換える

() 内はリモコンの表示です。

お手入れについて

汚れたときは

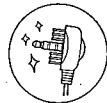
やわらかい布で軽くふきます。

汚れがひどいときは、水にひたした布をよくしぼってふき取り、乾いた布で仕上げてください。



プラグはいつもきれいに

プラグが汚れていると接触不良の原因となります。



乾電池ケースの接続端子をきれいに

定期的に綿棒で空拭きしてください。

(水やアルコールは絶対に使わないでください。)



ご注意

- 薬品類(ベンジン・シンナーなど)は使わないでください。変質・変色することがあります。
- 油をささないでください。故障の原因となります。

音楽著作権について

- あなたが録音、録画したものは、個人として楽しむほかは、著作権法上権利者に無断で使用できません。
 - この商品(デジタル録音機器)には、著作権法の定めにより、私的録音補償金が含まれております。
- なお、私的録音補償金に関するお問い合わせは、下記にお願いいたします。

社団法人 私的録音補償金管理協会

東京都新宿区西新宿3丁目20番2号
東京オペラシティタワー11F
東京オペラシティ郵便局 私書箱2583号
電話 (03) 5353-0336 (代表)
FAX (03) 5353-0337





仕様

仕様変更などにより、内容が一部異なることがあります。ご了承ください。

形式	ミニディスクデジタルオーディオシステム		
録音方式	磁界変調オーバーライト方式		
読み取り方式	非接触光学式読み取り方式(半導体レーザー使用)		
回転数	約400~900rpm		
エラー訂正方式	アドバンスド クロス インターリーブ リードソロモンコード (ACIRC)		
音声圧縮伸長方式	ATRAC (Adaptive TRansform Acoustic Coding) 24ビット演算方式		
チャンネル数	ステレオ2チャンネル/モノラル(長時間モード) 1チャンネル		
サンプリング周波数	44.1kHz (32kHz、48kHzは、44.1kHz に変換して録音)		
周波数特性	20~20,000Hz (±3dB)		
ワウ・フラッター	測定限界 (±0.001%W.PEAK) 以下		
入力端子	ライン/光デジタル兼用、マイク (プラグインパワー対応)		
出力端子	ヘッドホン (インピーダンス16Ω) / リモコン端子兼用		
入力感度	録音レベル	基準入力レベル	入力インピーダンス
	MIC H	0.25mV	10kΩ
	MIC L	2.5mV	10kΩ
	LINE	100mV	20kΩ
出力レベル	規定出力	最大出力レベル	負荷インピーダンス
ヘッドホン	—	10mW+ 10mW	32Ω
LINE	300mV(-12dB時)	—	10kΩ
電源	DC 3.6V : 付属リチウムイオン充電電池 (NB-L10A) x1 DC 3.4V : 付属乾電池ケース (単3形アルカリ乾電池 x1) DC 4.0V : 別売カーバッテリーアダプター (DC-C70) (DC12V/24V ⊖ 接地車用) DC 5V : 付属ACアダプター (100V AC、50/60Hz)		
電池持続時間	付属充電電池 (フル充電) 使用時 NB-L10A	付属 高容量単3アルカリ乾電池1本使用時 (充電電池収納時)	付属 高容量単3アルカリ乾電池1本使用+付属充電電池 (フル充電) 使用時
	連続録音 約8時間	連続録音 約3時間	連続録音 約11時間
	連続再生 約10時間	連続再生 約6時間	連続再生 約16時間
<ul style="list-style-type: none"> ●連続録音時間、アナログ入力で音量レベル "VOL 0" 時。 ●連続再生時間、音量レベル "VOL 15" 時。 ●周囲温度20℃にて充電/連続使用したときの標準値です。 ●乾電池のメーカーや種類、使用環境温度によって、使用時間は異なります。 			
充電時間	約3時間 (付属ACアダプター使用時)		
外形寸法	87.0 (幅) x 28.0 (高さ) x 81.5 (奥行) mm		
質量	約228 g (充電電池含む)		

別売品について

ステレオなどにつないで使うときに

光デジタルケーブル	OPC-300 (角形  — 丸形  端子用)
光デジタルケーブル	OPC-500 (丸形  — 丸形  端子用)

車の中で使うときに

カーバッテリーアダプター	DC-C70
カーカセットアダプター	CAC-2

録音するときに

ステレオマイクrophon	MC-R1 (プラグインパワー方式)
---------------	--------------------

保証とアフターサービス よくお読みください

- 1.保証書**—この製品には保証書がついています。
これは、保証期間中にもし故障が生じた場合、この保証書をご提示いただくと記載内容により無料修理をお約束する大切な証書です。
製品をお買い上げの際、販売店が所定事項を記入してお渡しいたしますので忘れずにお受け取りください。
 - 1) 記入事項をお確かめください。
販売店が所定事項を記入してからお渡しいたします。記入がないと有料修理になる場合がありますのでお受け取りの際は販売店記入欄をお確かめください。
 - 2) 保証書は大切に保管してください。
保証書は万一の不具合発生のとき、すぐ取り出せるように取扱説明書と同様に身近な場所に保管してください。
- 2.保証期間**—お買い上げの日より**1年間**です。
正常なご使用状態でこの期間内に万一故障を生じた場合には、保証書の記載内容により無料修理いたします。(なお落下による破損、故障など、および乾電池、充電電池などの消耗品は、保証期間内でも有料となります。)
- 3.保証期間経過後の修理**については、お買い上げの販売店またはケンウッドの営業所にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合には、お客様のご要望により有料修理いたします。
- 4.補修用性能部品の最低保有期間**は製造打ち切り後**6年間**です。この期間は、通産省の指導によるものです。補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。
- 5.アフターサービス**についてご不明な点は、お買い上げの販売店またはケンウッドの営業所に、ご遠慮なくご相談ください。
- 6.本機に添付の保証書は、日本国内においてのみ有効です。**
This warranty is valid only in Japan.

修理料金のしくみ (有料修理の場合、これらの費用が必要です。)

技術料: 故障した製品を正常に修復するための料金です。

技術者の人件費、技術教育費、測定機器等の設備費や、一般管理費などが含まれています。

部品代: 修理に使用した部品の代金です。その他、修理に付帯する部材等を含む場合もあります。

出張料: 製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。別途、駐車料金をいただく場合があります。

ケンウッドの音響製品は精密な部分が多いため、計測器による緻密な修理、調整を行うことが理想です。ケンウッド製品を最良の状態でご使用していただくために、ご面倒でも購入店または最寄りの、ケンウッド営業所、サービスセンターへ出来るだけお持ち込みくださることをおすすめします。また修理を迅速、確実にするため次の点をはっきりご連絡くださいますようお願いいたします。

●修理を依頼されるとき

1. お名前
2. ご住所
～コーポ、マンション～号室等住所は最後まではっきりと!!
3. 電話番号
ご自宅、勤務先、呼出しの区分をして!!
4. 機種名(型名)

5. 購入年月日

保証書の有無(保証期間中の場合は、必ず保証書を添えてください。)

6. 故障状況はできるだけ詳しく説明してください。

(1) 複雑な故障については、用紙に詳細を書いていただくより確実です。

(2) 時々起こるという故障状況については、はっきりとその旨おっしゃってください。

7. 本機のサービスを依頼されるときは、製品保護のため、必ず何かに包んでお渡しください。

※包装材は、アフターサービスや引っ越しの際に、大切な機器を保護するためにご利用ください。

●気軽にご相談ください

愛機をベストコンディションでお使いいただくために、お分かりにならないことなどがありましたら、お気軽にご相談ください。

ご自分で修理はしないでください。

ご自分で修理することは大変危険です。

付属品なども一緒にお持ちください。

修理のために本機をお持ち込みになるときは、本体・リモコン、ヘッドホン、ACアダプターなども一緒にお持ちください。いずれかだけですと、故障の内容によっては修理および検査ができないことがあります。

ケンウッド全国サービス網住所録

製品に対するお問合せ、アフターサービスについてのお申し込みは、購入店がお近くのケンウッド営業所、サービスセンター、サービスステーションへお申しつけください。

北海道

札幌サービスセンター	札幌市東区北34条東14丁目1-23	☎007-0834 ☎(011) 743-7740
帯広サービスステーション	帯広市西22条南3-32-6	☎080-2472 ☎(0155) 33-0611
旭川営業所・サービスステーション	旭川市豊岡五条7-35-1316	☎078-8235 ☎(0166) 32-4411

東北

仙台サービスセンター	仙台市若林区大和町5-32-12 (サンライズ大和)	☎984-0042 ☎(022) 284-1171
青森サービスステーション	青森市勝田1-19-4	☎030-0821 ☎(0177) 35-3431
盛岡営業所・サービスステーション	盛岡市厨川4-5-11	☎020-0124 ☎(019) 646-2311
郡山営業所・サービスステーション	郡山市安積3-257	☎963-0107 ☎(0249) 45-4721
山形サービスステーション	山形市松波1-15-24	☎990-0023 ☎(023) 623-7441
秋田サービスステーション	秋田市千秋矢留町9-14	☎010-0877 ☎(018) 836-0131

関東・甲信越

高崎サービスステーション	高崎市緑町2-9-1	☎370-0073 ☎(027) 362-6211
水戸サービスステーション	水戸市河和田3-2422-1	☎311-4152 ☎(029) 253-6711
宇都宮サービスステーション	宇都宮市今泉町1639-3	☎321-0962 ☎(028) 638-3161
新潟サービスステーション	新潟市焼ヶ山1-5-37	☎950-0923 ☎(025) 287-7736
松本営業所・サービスステーション	松本市南松本2-7-30(昭和ビル3F)	☎390-0832 ☎(0263) 26-7331

足利営業所・サービスステーション	足利市田中町351-1	☎326-0822 ☎(0284) 73-2181
大宮サービスセンター	大宮市本郷町258-1	☎330-0033 ☎(048) 664-3611
東京サービスセンター	目黒区青葉台3-17-9	☎153-0042 ☎(03) 3477-5411
立川サービスステーション	立川市曙町1-22-25(アバクス立川1F)	☎190-0012 ☎(042) 523-2151
千葉サービスセンター	千葉市美浜区中瀬2-6 (ワールドビジネスガーデン マリブイスト17F)	☎261-7117 ☎(043) 297-2311
柏サービスステーション	柏市富里1-2-1	☎277-0081 ☎(0471) 63-1441
横浜サービスステーション	横浜市神奈川区西神奈川1-5-2 (ナイス アーバン東神奈川1F)	☎221-0822 ☎(045) 312-4481
神奈川中央サービスセンター	座間市広野台2-5032	☎228-0012 ☎(0462) 56-9681

名古屋サービスセンター	名古屋市中区栄通1-11	☎462-0861 ☎(052) 917-2550
四日市サービスステーション	四日市市新正4-15-10	☎510-0064 ☎(0593) 52-3133
静岡営業所・サービスステーション	静岡市清水5-61-1	☎420-0816 ☎(054) 262-7611
金沢サービスセンター	金沢市南新保町1-44	☎920-0064 ☎(076) 265-5045
岡崎サービスステーション	岡崎市欠町清水田20-25	☎444-0011 ☎(0564) 23-2686

近畿

大阪サービスセンター	大阪市都島区東野田町1-20-5 (大阪京橋第一生命ビル3F)	☎534-0024 ☎★(06) 352-1055
京都営業所・サービスステーション	京都市伏見区治部町56-1	☎612-8374 ☎(075) 603-7750
神戸サービスステーション	神戸市中央区海岸通2-2-3 (サンエービルディング東館4F)	☎650-0024 ☎(078) 333-1743

中国・四国

広島サービスセンター	広島市西区横川新町14-12(第三山本ビル)	☎733-0013 ☎(082) 293-0310
徳山サービスステーション	徳山市岡田町212	☎745-0066 ☎(0834) 31-1311
岡山営業所・サービスステーション	岡山市西市308-6	☎700-0953 ☎(086) 241-4400
高松サービスセンター	高松市松島町3-1	☎760-0068 ☎(087) 835-2413
松山サービスステーション	松山市山越4-11-2	☎791-8013 ☎(089) 925-5760

九州

福岡サービスセンター	福岡市南区向野2-8-18	☎815-0035 ☎(092) 551-9755
北九州営業所・サービスステーション	北九州市小倉北区熊本1-12-25	☎802-0044 ☎(093) 921-2771
熊本営業所・サービスステーション	熊本市健軍本町29-3	☎862-0910 ☎(096) 368-4161
大分サービスステーション	大分市萩原2-9-18	☎870-0921 ☎(097) 553-3207
宮崎サービスステーション	宮崎市旭1-6-30(サニービル2F)	☎880-0803 ☎(0985) 26-1161
鹿児島サービスステーション	鹿児島市下荒田2-20-1	☎890-0056 ☎(099) 251-6347
沖縄営業所・サービスステーション	宜野湾市宇地泊89	☎901-2227 ☎(098) 898-2255

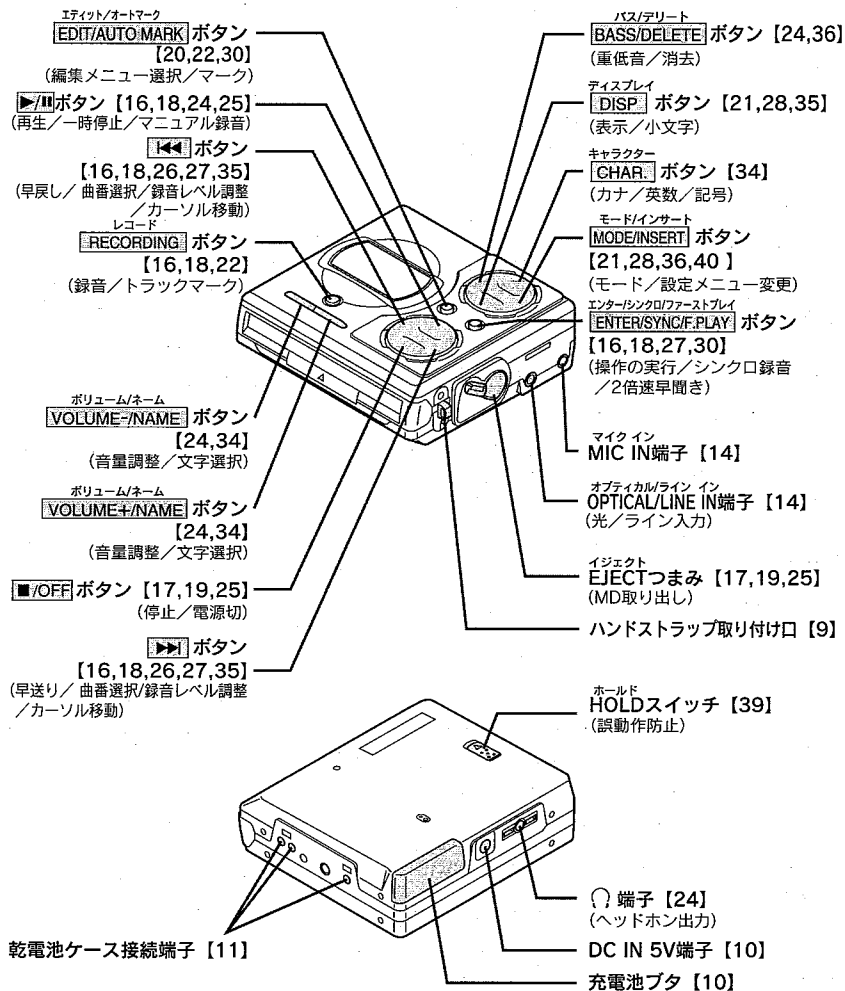
(上記サービスセンター及び各営業所の名称、所在地、電話番号は変更になることがありますのでご了承ください。)

お客様相談室(東京)	東京都目黒区青葉台3-17-9	☎153-0042 ☎(03) 3477-5335
お客様相談室(大阪)	大阪市都島区東野田町1-20-5 (大阪京橋第一生命ビル)	☎534-0024 ☎★(06) 357-5335

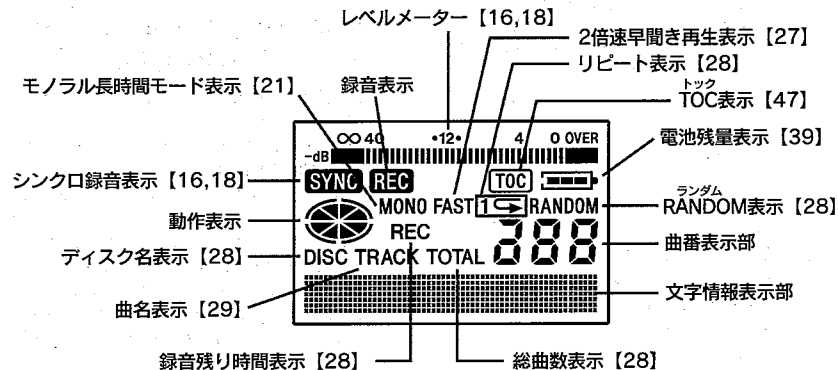
「★」マークの電話番号は、1999年(平成11年)1月1日より、市内局番のあたりに「6」をつけておかけください。

各部のなまえ

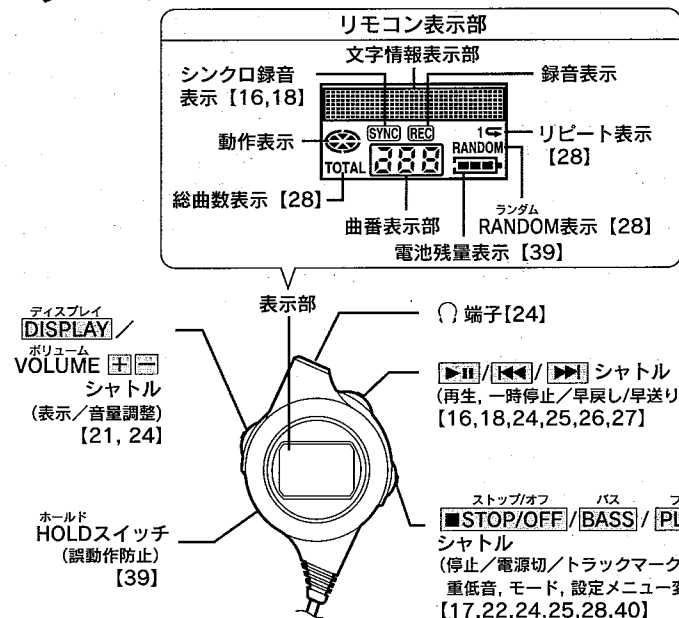
■ 本 体



■ 本体表示部



■ リモコン



- **■** は、本書の操作説明で使用するボタン名を表しています。
- **[]** はおもに説明しているページを、**()** 内はおもな機能を表しています。

ENGLISH OPERATION MANUAL

INTRODUCTION

Thank you for purchasing this KENWOOD product. To obtain the best performance from this product please read this manual carefully. It will guide you in operating your KENWOOD product.

ACCESSORIES (page 9)

1. Remote Control Unit x 1
2. Headphones x 1
3. AC Adaptor x 1
4. Rechargeable Battery x 1
5. Battery Case x 1
6. Connecting Cable x 1
7. Carrying Case x 1
8. Handstrap x 1
9. Alkaline Battery x 1
10. Operation Manual x 1
11. Warranty Card x 1

POWER SOURCE

■ When using the unit with the rechargeable battery (page 10)

Charge the rechargeable battery according to the following procedure.

1. Open the battery compartment cover.
2. Insert the arrow end of the battery first, and replace the battery compartment cover.
3. Plug the AC adaptor into an AC outlet (AC 100V) and plug the other end into the DC IN 5V jack on the unit.
4. About 4 seconds later, "■■■■" will flash, and battery charging will start.
 - Battery charging will be complete in about 3 hours. When battery charging begins, "■■■■" will flash. When the charging is complete, it will go out.

Notes:

- When the unit is operated from the rechargeable battery without using the AC adaptor, the battery indicator on the main unit's display will light up. If this indicator begins to flash, recharge the battery.
- Use only the specified rechargeable battery.
- Continuous playback: Approx. 10 hours (Fully charged, volume level: VOL 15)
Continuous recording: Approx. 8 hours (Fully charged, analog input, volume level: VOL 0)

■ When using the unit with the alkaline battery (page 11)

1. Make sure that a rechargeable battery is inserted.
2. Open the cover of the battery case supplied with the unit.
3. Insert an "AA" size battery (LR6) into the battery case by matching its plus and minus terminals with the markings inside the battery case, and then close the cover of the battery case.
4. Align the protuberance on the battery case with the indentation in the side of the unit.
5. Turn the fixing screw on the battery case toward "LOCK", and then check that the battery case does not move.

- Do not use the unit with only a disposable battery in it.
- Do not insert a rechargeable battery (such as a nickel-cadmium rechargeable battery) into the battery case.
- Do not replace either the battery or the rechargeable battery with a new one while operating the unit.

■ When using the unit with the AC adaptor (page 11)

1. Connect the AC adaptor to the DC IN 5V jack on the unit.
2. Plug the AC adaptor into an AC outlet (AC 100V, 50/60Hz).
 - If the rechargeable battery is in the unit, it will be charged, even while operating the unit. (Float charge)

PRECAUTIONS BEFORE RECORDING

■ Type of recording being connected (pages 12 and 14)

Two types of recording are possible: "Digital recording" and "Analog recording".

The cables needed for each type of hookup are different, depending on the jacks on the equipment being connected.

(1) Digital recording connection:

Connect the unit to equipment with an optical output jack using a digital cable (available separately). Using an optical digital signal to transfer the music allows very high quality recording. It is not necessary to adjust the recording level. A track number is automatically assigned to each track of music from the sound source.

- Main equipment:
CS/BS tuner, CD/MD player, digital amplifier, etc.
- Cable required:
Digital cable (OPC-300 or OPC-500, available separately)

(2) Analog recording connection:

Connect the unit to equipment with a line output jack, using the cable that came with the unit.

- Main equipment:
CD player, MD player, radio cassette player, etc.
- Cable required:
Cable included with this unit.

■ Type of recording (page 15)

(1) Synchronous recording

Detects sound from an external unit connected to this unit and automatically starts or pauses the recording.

(2) Manual recording

Allows you to record or pause without regard to the sound in the signal.

Notes:

- This unit has a built-in sampling rate converter so that the recording from other equipment (DAT deck, BS tuner, etc.) which has a different sampling frequency is still possible.
- When a recording is made using microphones, it will be an analog recording.
- This unit has a device which keeps additional copies of digital recordings from being made from MiniDiscs which were originally recorded in digital. This limit is based on the standards developed by the SCMS (Serial Copy Management System).
- Insert the plug firmly. If not, recording cannot be performed properly.

RECORDING ON A MINIDISC

■ Connecting method (page 14)

- Connect the output jacks of the other equipment to the OPTICAL/LINE IN jack on the unit using the appropriate cables for each connection, as shown below.
- To connect a microphone, plug it into the MIC IN jack on the main unit.

■ To record (pages 16 - 19)

To record from an external unit

1. Connect an external unit to this unit.
2. Insert a recordable MiniDisc.
3. Press the [RECORDING] button.
4. To adjust the recording level, start playback from the equipment which will provide the signal to be recorded, and press the [◀] or [▶] button.
 - Refer to the display, and adjust the recording level so that the volume meter has a maximum swing between -4 and 0 dB.
 - For digital recording, it is not necessary to adjust the recording level.

[Synchronous recording from a CD, MD]

- After adjusting the recording level, put the equipment connected to the unit in the playback standby mode.
- Press the **[ENTER/SYNC/F.PLAY]** button.
 - The recording may not start or pause at the correct position depending on the playback signals. If this happens, do the recording manually.
- Start playback from the equipment connected to this unit.
 - The recording will start automatically.

[Manual recording]

- Perform steps 1 - 5.
- To start the recording, press the **[▶/II]** button.

To record from a microphone

- Connect a microphone to this unit.
- Insert a recordable MiniDisc.
- Press the **[RECORDING]** button.
- Adjust the recording level by pressing the **[◀◀]** or **[▶▶]** button.
 - Refer to the display, and adjust the recording level so that the volume meter has a maximum swing between -4 and 0 dB.

[MIC - synchronous recording]

- Then adjust the synchronous level by pressing the **[ENTER/SYNC/F.PLAY]** button.
 - In this mode, the recording will be started and paused automatically, according to the sound that is detected from the source. This mode is convenient for recording meetings or lectures.
 - "MIC SYNC H" and "MIC SYNC L" will appear mutually on the display. To record the lower sound (meetings etc.), select "MIC SYNC H". To record the louder sound (concerts etc.), select "MIC SYNC L".
- As soon as some sounds are detected, the recording will start automatically.

[Manual recording]

- Perform steps 1 - 4.
- To start the recording, press the **[▶/II]** button.

To interrupt the recording : (pages 17 and 19)

[Synchronous recording]

- When the connected equipment is stopped, the unit will be paused in the synchronous recording mode. If the connected equipment restarts playback, it will follow the unit to restart recording.
- If no sound is detected for 3 seconds or more, the recording will be paused automatically.
- Press the **[▶/II]** button during recording. The synchronous recording mode will be canceled, and the unit will enter the recording standby mode.
- To resume synchronous recording, press the **[ENTER/SYNC/F.PLAY]** button.

[Manual recording]

- Press the **[▶/II]** button during recording. The unit will enter the recording standby mode.
- To resume recording, press the **[▶/II]** button again.

To cancel the recording : (pages 17 and 19)

Press the **[■/OFF]** button.

To turn off the power : (pages 17 and 19)

- Press the **[■/OFF]** button while in the stop mode.
- TOC will be written, and the unit will turn off.
 - While "TOC EDIT" is being displayed, do not jar the unit. If you do, the TOC cannot be written correctly on the disc.

To remove a MiniDisc: (pages 17 and 19)

Move the EJECT knob in the direction indicated by the arrow.

■ To mark while recording from a microphone (TIME AUTO MARK function) (page 20)

You can mark the recording at regular intervals to be able to locate the beginning of any section.

- Press the **[EDIT/AUTO MARK]** button while recording from a microphone.
- Each time this button is pressed, the display will change as "3 min MARK", "MARK OFF", "10 min MARK" and "5 min MARK" in order.

■ Checking the remaining recordable time (page 21)

- Press the **[DISP]** (**[DISPLAY]**) button while recording.
- The remaining recordable time will be displayed.
 - To make the initial display appear, press the **[DISP]** (**[DISPLAY]**) button again.

■ If you want to make a long recording (monaural mode) (page 21)

The unit is in the standard recording (stereo) mode by nature. However, by switching to the "monaural double length recording mode", you can record for twice as long as the time listed on the MiniDisc. This mode is convenient for recording meetings or lectures.

- Press the **[MODE/INSERT]** button to make "MONO" appear on the display.
- When a recording in the monaural double length recording mode is stopped, the unit will resume recording in the stereo mode.

■ Creating your own track number while recording (page 22)

Press the **[RECORDING]** button or move the shuttle switch on the lower right of the remote control up once at the point where you want to create a track number.

■ Recording without creating track numbers (page 22)

- Press the **[EDIT/AUTO MARK]** button while the recording is paused.
 - "MARK OFF" will be displayed.
- Press the **[▶/II]** button.
 - Recording will start.

To resume creating track numbers automatically:

- Press the **[EDIT/AUTO MARK]** button while the recording is paused.
- "AUTO MARK" will be displayed.

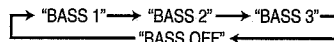
■ To start recording in the middle of a previously recorded section (page 23)

- During playback, press the **[▶/II]** button at the point where you want to record a new track over an old track.
- Press the **[RECORDING]** button.
 - To cancel the operation, press the **[■/OFF]** button.
- Press the **[ENTER/SYNC/F.PLAY]** button.
 - At this time, all of the old tracks and track names recorded after the point where the new recording is started will be erased.
- Press the **[▶/II]** button.
 - Recording will start.

MINIDISC PLAYBACK

■ Normal playback (pages 24 - 25)

1. Plug in the remote control and headphones.
● Insert the plug fully.
2. Insert a MiniDisc.
● Hold the MiniDisc horizontally and insert it in the direction shown by the arrow on it.
● The power will be turned on automatically and playback will begin from the first track. (Auto play)
● When a recordable MiniDisc is to be played, make sure that the accidental erasure prevention tab is unlocked. If the tab is not located at the protect position, the AUTO-PLAY function will not work.
In this case, press the **[▶/II]** button.
3. Adjust the volume by pressing the **[+]** or **[-]** button.
● To adjust the volume using the remote control, move the shuttle switch on the left side up to the increase the volume. Move it down to reduce the volume.
4. Press the **[BASS/DELETE]** button to adjust the bass or move the shuttle switch on the lower right of the remote control up to increase the bass.
● Each time this button is pressed, the display will change as follows:



To stop playback: (page 25)

Press the **[■/OFF]** button.

- If the **[▶/II]** button is pressed after playback has stopped, playback will resume from the same point where the playback was stopped.

To turn off the power: (page 25)

Press the **[■/OFF]** button while the unit is in the stop mode.

- When about 2 minutes have passed after playback has stopped, power to the unit will be turned off automatically.

To remove a MiniDisc: (page 25)

Move the EJECT knob in the direction indicated by the arrow.

■ APSS (Auto Program Search System) (page 26)

You can locate the beginning of any track automatically by using the APSS function.

To move to the beginning of the next track:

During playback, press the **[▶▶]** button or move the shuttle switch on the upper right of the remote control up.

To restart the track currently being played:

During playback, press the **[◀◀]** button or move the shuttle switch on the upper right of the remote control down.

- To play a desired track, press the **[▶▶]** or **[◀◀]** button to select the track number while in the stop mode. Then press the **[▶/II]** button.

■ Cue and Review (page 26)

1. Insert a MiniDisc and begin playback.
2. When the **[▶▶]** button is held down or the shuttle switch on the upper right of the remote control is moved up during playback, the MiniDisc will be fast forwarded. When the **[◀◀]** button is held down or the shuttle switch on the upper right of the remote control is moved down, the MiniDisc will be fast reversed. When you release the button or switch, normal play will resume.

Note:

- When a cue or review operation is performed while in the pause mode, you can find the desired track more quickly. However, no sound will be heard. The unit will re-enter the pause mode at the scan position where you release your finger.

■ Double-speed playback (page 27)

During playback of a MiniDisc which is recorded in the monaural (double length) mode, press the **[ENTER/SYNC/F.PLAY]** button.

- To return to normal-speed playback, press the **[ENTER/SYNC/F.PLAY]** button again.
- Depending on the recorded materials, the sound may not be clear to listen.

To interrupt double-speed playback:

Press the **[▶/II]** button during playback.

- To resume double-speed playback, press the **[▶/II]** button again.

■ Random playback (page 28)

During playback, press the **[MODE/INSERT]** button repeatedly or move the shuttle switch on the lower right of the remote control down repeatedly.

- "RANDOM" will be displayed.
- After the track you are listening to has finished playing back, all of the tracks will be played back once in random order, and then the unit will automatically stop.

To cancel random playback:

Press the **[MODE/INSERT]** button repeatedly or move the shuttle switch on the lower right of the remote control down repeatedly to turn off "RANDOM".

■ Repeat playback (page 28)

During playback, press the **[MODE/INSERT]** button repeatedly or move the shuttle switch on the lower right of the remote control down repeatedly until "↶" (repetition of all tracks) or "1↶" (repetition of a single track) is displayed.

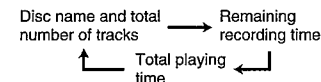
To cancel repeat play:

Press the **[MODE/INSERT]** button repeatedly or move the shuttle switch on the lower right of the remote control down repeatedly to turn off "↶" or "1↶".

■ To display the remaining recording time and the total playing time (page 28)

Press the **[DISP]** (**[DISPLAY]**) button in the stop mode.

- Each time this button is pressed, the display will change as follows;



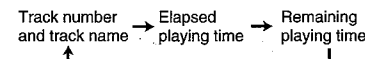
Note:

- This unit can display katakana characters which conform to the MD standard specifications. If a nonstandard disc is played back, katakana characters may not be displayed.

■ To check the elapsed playing time and the remaining playing time (page 29)

Press the **[DISP]** (**[DISPLAY]**) button during playback.

- Each time this button is pressed, the display will change as follows;



EDITING RECORDED MINIDISCS

You can create original discs using functions.
However, playback-only MiniDiscs cannot be edited.

■ ERASE (page 31)

- Recorded tracks can be erased one at a time or all at once.
- Once a track has been erased, it cannot be recovered. Check the track number carefully before erasing.

To erase tracks one at a time:

- During playback of the track to be erased, press the **[▶/II]** button.
- Press the **[EDIT/AUTO MARK]** button repeatedly to make "ERASE" appear on the display.
- Press the **[ENTER/SYNC/F.PLAY]** button.
 - To cancel the operation, press the **[■/OFF]** button.
- Press the **[ENTER/SYNC/F.PLAY]** button again.
 - The selected track will be erased.

To erase all of the tracks at once:

- While in the stop mode, press the **[EDIT/AUTO MARK]** button repeatedly to make "ALL ERASE" appear on the display.
- Press the **[ENTER/SYNC/F.PLAY]** button.
 - To cancel the operation, press the **[■/OFF]** button.
- Press the **[ENTER/SYNC/F.PLAY]** button again.
 - All of the tracks will be erased.

■ DIVIDE (page 32)

If you create track numbers at the points where you want to divide the recording, you can locate certain points wherever you like.

- Play back the track which you want to divide into two, and press the **[▶/II]** button at the point where you want to divide the track.
- Press the **[EDIT/AUTO MARK]** button repeatedly to make "DIVIDE" appear on the display.

- Press the **[ENTER/SYNC/F.PLAY]** button.
 - To cancel the operation, press the **[■/OFF]** button.
- Press the **[ENTER/SYNC/F.PLAY]** button again.
 - The original recording will be divided into the two new tracks.

■ MOVE (page 33)

This function is used to change the order of tracks and to listen to tracks in the order that you prefer.

- Play back the track to be moved, and press the **[▶/II]** button.
 - The unit will enter the pause mode.
- Press the **[EDIT/AUTO MARK]** button repeatedly to make "MOVE" appear on the display.
- Press the **[ENTER/SYNC/F.PLAY]** button.
 - To cancel the operation, press the **[■/OFF]** button.
- Press the **[◀◀]** or **[▶▶]** button to select the direction to move.
 - To increase the track number... **[▶▶]**
 - To decrease the track number... **[◀◀]**
- Press the **[ENTER/SYNC/F.PLAY]** button again.
 - The selected track will be moved to the new location.

■ COMBINE (page 33)

Two adjacent tracks can be combined (for example, the fifth and sixth tracks).

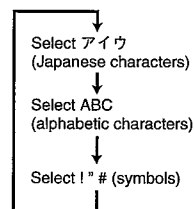
- Play back the second of the two tracks which you want to combine, and press the **[▶/II]** button.
 - The unit will enter the pause mode.
- Press the **[EDIT/AUTO MARK]** button repeatedly to make "COMBINE" appear on the display.
- Press the **[ENTER/SYNC/F.PLAY]** button.
 - To cancel the operation, press the **[■/OFF]** button.
- Press the **[ENTER/SYNC/F.PLAY]** button again.
 - The two tracks will be combined.

■ DISC/TRACK NAME (pages 34 - 36)

Discs and tracks can be named using a maximum of 100 characters (including spaces).

To create a name for a recordable disc:

- While in the stop mode, press the **[EDIT/AUTO MARK]** button repeatedly to make "DISC NAME" appear on the display.
- Press the **[ENTER/SYNC/F.PLAY]** button.
 - To cancel the operation, press the **[■/OFF]** button.
- Press the **[CHAR.]** button to select the type of characters.
 - Every time the **[CHAR.]** button is pressed, the type of characters will be changed as follows: (page 35)



- When the type of characters is selected, the first three letters of that type will be displayed for about 1 second.
(Example) When the capital letters are selected, "ABC" will be displayed.
- Press the **[+]** or **[−]** button to select the first letter.
 - When the letter you want is displayed, press the **[▶▶]** button.
 - To erase a letter
Press the **[◀◀]** or **[▶▶]** button to highlight the letter to be erased, and then press the **[BASS/DELETE]** button.
 - To correct a letter
Press the **[◀◀]** or **[▶▶]** button to highlight the letter to be corrected, and then enter the correct letter.

- To enter letters continuously, repeat steps 3 - 5.
- After completely entering the track name, press the **[ENTER/SYNC/F.PLAY]** button again.

To create a track name for a recorded track:

- Play back the track which you want to name, and then press the **[▶/II]** button.
 - The unit will enter the pause mode.
- Press the **[EDIT/AUTO MARK]** button repeatedly to make "Tr NAME" appear on the display.
- Press the **[ENTER/SYNC/F.PLAY]** button.
- Then follow the procedure in steps 3-7 of the section "To create a name for a recordable disc".

■ NAME STAMP function (pages 37 - 38)

The whole data written in characters on a MiniDisc which contains tracks and data recorded previously (a master MiniDisc) is able to be sent to a recordable MiniDisc (a MiniDisc copy).

- Complete a recording from a master MiniDisc to a MiniDisc copy.
 - Only sounds are recorded. At this point, the data written in characters has not been recorded yet.
 - Make sure that the track numbers agree on both MiniDiscs. If not, use the **DIVIDE** or **COMBINE** functions on one of the MiniDiscs so that it is the same as the other.
- After finishing recording, remove the MiniDisc copy from the unit and insert the master MiniDisc to the DMC-K7R.
 - Check the differences between the master MiniDisc and the MiniDisc copy.
- Press the **[EDIT/AUTO MARK]** button repeatedly to make "NAME STAMP" appear on the display.
- Press the **[ENTER/SYNC/F.PLAY]** button.
 - "READ OK?" will be displayed.
 - To cancel the operation, press the **[■/OFF]** button.

OTHER USEFUL FUNCTIONS

5. Press the **[ENTER/SYNC/F.PLAY]** button again.

● "Reading!" will be displayed.

6. Make sure that "CHANGE MD" appears on the display, and then remove the master MiniDisc from the unit.

7. Insert the MiniDisc copy to the DMC-K7R.

● The display will show "INSERT MD", "TOC READ" and "WRITE OK?" in order.

● To cancel the operation, press the **[■/OFF]** button.

8. Press the **[ENTER/SYNC/F.PLAY]** button again.

● The display will change from "Writing!" to "COMPLETE" and the NAME STAMP function will be completed. And then the unit will enter the stop mode.

Notes:

● The playback-only MiniDiscs can not stamp the data written in characters.

● If the total number of tracks is not the same between the master MiniDisc and the MiniDisc copy, "Can't WRITE" will appear on the display and the unit will turn off. If this occurs, edit to make the track numbers on both discs agree, and retry from step 2.

After completing the edit operation

To write the TOC (Table of Contents: information like track numbers, etc.) on a disc, press the **[■/OFF]** button while in the stop mode.

● "TOC EDIT!" will be displayed, and the power will be turned off.

● While "TOC EDIT!" is being displayed, do not jar the unit. If you do, the TOC cannot be written correctly on the disc.

■ Hold function (page 39)

Even if the buttons are pressed accidentally (in a crowded train, etc.), if the hold function has been set on the unit or on the remote control, the unit will not respond correctly.

To put the unit in the state which prevents malfunctions, move the HOLD switch.

● To resume the operation, return the HOLD switch to its original position.

■ Various set-up parameters (pages 40 - 41)

You are able to set up 4 parameters with the unit (beep sound, display backlight, auto play function, and auto power save function).

To stop the beep sound:

1. When stopped, hold down the **[MODE/INSERT]** button or move the shuttle switch on the lower right of the remote control down and hold it, until "SET UP" is displayed.

Then, release the **[MODE/INSERT]** button or the shuttle switch.

● "BEEP ON (BEEP 1)" will be displayed.

2. Press the **[MODE/INSERT]** button or move the shuttle switch on the lower right of the remote control down once.

● "BEEP OFF (BEEP 0)" will be displayed.

To set up other parameters:

1. When stopped, hold down the **[MODE/INSERT]** button or move the shuttle switch on the lower right of the remote control down and hold it, until "SET UP" is displayed.

Then, release the **[MODE/INSERT]** button or the shuttle switch.

● "BEEP ON (BEEP 1)" or "BEEP OFF (BEEP 0)" will be displayed.

2. Press either the **[◀◀]** or **[▶▶]** button or move the shuttle switch on the upper right of the remote control up or down to select the parameter you want to change.

● Each time the button is pressed, the display will change as follows:



3. Press the **[MODE/INSERT]** button or move the shuttle switch on the right of the remote control down once.

	ON	OFF
Beep sound	BEEP ON (BEEP 1)	BEEP OFF (BEEP 0)
Display backlight	EL ON 1; EL ON 2 (EL on 1); (EL on 2)	EL OFF (EL off)
Auto play	A-PLAY ON (auto PL)	A-PLAY OFF (PL off)
Auto power save	AUTO Psave (auto PS)	Psave OFF (PS off)

To finish the setup:

Press the **[■/OFF]** button.